

2021年1月15日

北海道知事
鈴木 直道 様

一般社団法人全国知的障害者施設家族会連合会
理事長 由一岐 三穂
兵庫県神戸市中央区橘通3-4-1
神戸市立総合福祉センター2F
TEL 078-371-3930

緊急要望

昨年1月6日、厚生労働省が「中国の武漢市で原因不明の肺炎の発生が複数報告されている」と発表したことが新型コロナウイルス感染についての日本での第一報でありました。あれから1年が経過し、新型コロナウイルスは世界中に蔓延しました。日本では感染拡大の勢いが増すばかりで、さまざまな領域で生活困難を抱える人びとを苦しめており、全国知的障害者施設家族会連合会は、今般下記の4項目について緊急に要望します。

1. 医療崩壊の中で「いのちの選別」をおこなわないこと

感染者急増の中で、命を賭した献身的な医療現場の深刻な状況が報道されています。こうした状況下では、医療崩壊を理由に治療の優先順位をつける「いのちの選別」が進められないかと危惧します。医療機関や保健所等が「いのちの選別」を行わないよう徹底して下さい。医療・保健分野へ必要な予算、人的体制を早急かつ抜本的に強化して下さい。

2. 感染者が発生した場合の対策と支援を実施すること

障害者支援施設やグループホームで、障害のある人が感染した場合に、障害を理由に入院拒否をしないこと、そして、入院した際には障害特性に合わせた支援や合理的配慮が講じられるような体制が整えられるように医療機関への支援策を講じてください。

なお、施設内でのゾーニングは、感染をさらに拡大させる危険性があるので望ましくありません。知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難であるため、重症化の徴候を見過ごさないために、感染した場合は原則的に入院対応をお願いします。

また、施設内でクラスターが発生した場合は、市町村や都道府県の職員も含めた最大限の応援体制を整えてください。

3. 障害のある人や支援者へPCR検査を早急に実施すること

障害のある人の多くは感染した場合に重症化リスクが高く、生活上、常に人による支援を必要としています。特に、知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難な人が多くいます。障害のある人や支援者がPCR検査を必要に応じて何度でも受けられるよう財政措置を含め早急に対策してください。

4. 障害福祉事業所の報酬の日額払い制度を抜本的に改めること

障害のある人が通う事業所は、感染リスク軽減のため、一時休所や、密をさけるために通所人員を減らす必要が生じます。しかし、日額払いの報酬支払制度では、感染リスク軽減策をとることが、事業所の存続を危うくすることにつながります。現在の在宅支援の柔軟な取り扱いは、各自治体の判断によって運用がまちまちです。

障害のある人が事業所を安心して利用できるようにするため、上記のような臨時的な対策ではなく、事業運営にあたる費用は月額払い、利用者の個別給付に必要な費用は日額払いとし、基本報酬で安定経営ができる報酬体系に抜本的に改めてください。

以上

2021年1月15日

青森県知事
三村 申吾 様

一般社団法人全国知的障害者施設家族会連合会
理事長 由 岐 透
兵庫県神戸市中央区橘通 3-4-1
神戸市立総合福祉センター 2F
TEL 078-371-3930

緊急要望

昨年1月6日、厚生労働省が「中国の武漢市で原因不明の肺炎の発生が複数報告されている」と発表したことが新型コロナウイルス感染についての日本での第一報でありました。あれから1年が経過し、新型コロナウイルスは世界中に蔓延しました。日本では感染拡大の勢いが増すばかりで、さまざまな領域で生活困難を抱える人びとを苦しめており、全国知的障害者施設家族会連合会は、今般下記の4項目について緊急に要望します。

1. 医療崩壊の中で「いのちの選別」をおこなわないこと

感染者急増の中で、命を賭した献身的な医療現場の深刻な状況が報道されています。こうした状況下では、医療崩壊を理由に治療の優先順位をつける「いのちの選別」が進められないかと危惧します。医療機関や保健所等が「いのちの選別」を行わないよう徹底して下さい。医療・保健分野へ必要な予算、人的体制を早急かつ抜本的に強化して下さい。

2. 感染者が発生した場合の対策と支援を実施すること

障害者支援施設やグループホームで、障害のある人が感染した場合に、障害を理由に入院拒否をしないこと、そして、入院した際には 障害特性に合わせた支援や合理的配慮が講じられるような体制が整えられるように医療機関への支援策を講じてください。

なお、施設内でのゾーニングは、感染をさらに拡大させる危険性があるので望ましくありません。知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難であるため、重症化の徴候を見逃さないために、感染した場合は原則的に入院対応をお願いします。

また、施設内でクラスターが発生した場合は、市町村や都道府県の職員も含めた最大限の応援体制を整えてください。

3. 障害のある人や支援者へ PCR 検査を早急に実施すること

障害のある人の多くは感染した場合に重症化リスクが高く、生活上、常に人による支援を必要としています。特に、知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難な人が多くいます。障害のある人や支援者が PCR 検査を必要に応じて何度でも受けられるよう財政措置を含め早急に対策してください。

4. 障害福祉事業所の報酬の日額払い制度を抜本的に改めること

障害のある人が通う事業所は、感染リスク軽減のため、一時休所や、密をさけるために通所人員を減らす必要が生じます。しかし、日額払いの報酬支払制度では、感染リスク軽減策をとることが、事業所の存続を危うくすることにつながります。現在の在宅支援の柔軟な取り扱いは、各自治体の判断によって運用がまちまちです。

障害のある人が事業所を安心して利用できるようにするため、上記のような臨時的な対策ではなく、事業運営にあたる費用は月額払い、利用者の個別給付に必要な費用は日額払いとし、基本報酬で安定経営ができる報酬体系に抜本的に改めてください。

以上

2021年1月15日

岩手県知事
達増 拓也 様

一般社団法人全国知的障害者施設家族会連合会
理事長 由岐 透
兵庫県神戸市中央区橋通3-4-1
神戸市立総合福祉センター2F
TEL 078-371-3930

緊急要望

昨年1月6日、厚生労働省が「中国の武漢市で原因不明の肺炎の発生が複数報告されている」と発表したことが新型コロナウイルス感染についての日本での第一報でありました。あれから1年が経過し、新型コロナウイルスは世界中に蔓延しました。日本では感染拡大の勢いが増すばかりで、さまざまな領域で生活困難を抱える人びとを苦しめており、全国知的障害者施設家族会連合会は、今般下記の4項目について緊急に要望します。

1. 医療崩壊の中で「いのちの選別」をおこなわないこと

感染者急増の中で、命を賭した献身的な医療現場の深刻な状況が報道されています。こうした状況下では、医療崩壊を理由に治療の優先順位をつける「いのちの選別」が進められないかと危惧します。医療機関や保健所等が「いのちの選別」を行わないよう徹底して下さい。医療・保健分野へ必要な予算、人的体制を早急かつ抜本的に強化して下さい。

2. 感染者が発生した場合の対策と支援を実施すること

障害者支援施設やグループホームで、障害のある人が感染した場合に、障害を理由に入院拒否をしないこと、そして、入院した際には障害特性に合わせた支援や合理的配慮が講じられるような体制が整えられるように医療機関への支援策を講じてください。

なお、施設内でのゾーニングは、感染をさらに拡大させる危険性があるので望ましくありません。知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難であるため、重症化の徴候を見逃ごさないために、感染した場合は原則的に入院対応をお願いします。

また、施設内でクラスターが発生した場合は、市町村や都道府県の職員も含めた最大限の応援体制を整えてください。

3. 障害のある人や支援者へ PCR 検査を早急に実施すること

障害のある人の多くは感染した場合に重症化リスクが高く、生活上、常に人による支援を必要としています。特に、知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難な人が多くいます。障害のある人や支援者が PCR 検査を必要に応じて何度でも受けられるよう財政措置を含め早急に対策してください。

4. 障害福祉事業所の報酬の日額払い制度を抜本的に改めること

障害のある人が通う事業所は、感染リスク軽減のため、一時休所や、密をさけるために通所人員を減らす必要が生じます。しかし、日額払いの報酬支払制度では、感染リスク軽減策をとることが、事業所の存続を危うくすることにつながります。現在の在宅支援の柔軟な取り扱いは、各自治体の判断によって運用がまちまちです。

障害のある人が事業所を安心して利用できるようにするため、上記のような臨時的な対策ではなく、事業運営にあたる費用は月額払い、利用者の個別給付に必要な費用は日額払いとし、基本報酬で安定経営ができる報酬体系に抜本的に改めてください。

以上

2021年1月15日

宮城県知事
村井 嘉浩 様

一般社団法人全国知的障害者施設家族会連合会

理事長 由 岐 透

兵庫県神戸市中央区橋通3-4-1

神戸市立総合福祉センター2F

TEL 078-371-3930

緊急要望

昨年1月6日、厚生労働省が「中国の武漢市で原因不明の肺炎の発生が複数報告されている」と発表したことが新型コロナウイルス感染についての日本での第一報でありました。あれから1年が経過し、新型コロナウイルスは世界中に蔓延しました。日本では感染拡大の勢いが増すばかりで、さまざまな領域で生活困難を抱える人びとを苦しめており、全国知的障害者施設家族会連合会は、今般下記の4項目について緊急に要望します。

1. 医療崩壊の中で「いのちの選別」をおこなわないこと

感染者急増の中で、命を賭した献身的な医療現場の深刻な状況が報道されています。こうした状況下では、医療崩壊を理由に治療の優先順位をつける「いのちの選別」が進められないかと危惧します。医療機関や保健所等が「いのちの選別」を行わないよう徹底して下さい。医療・保健分野へ必要な予算、人的体制を早急かつ抜本的に強化して下さい。

2. 感染者が発生した場合の対策と支援を実施すること

障害者支援施設やグループホームで、障害のある人が感染した場合に、障害を理由に入院拒否をしないこと、そして、入院した際には 障害特性に合わせた支援や合理的配慮が講じられるような体制が整えられるように医療機関への支援策を講じてください。

なお、施設内でのゾーニングは、感染をさらに拡大させる危険性があるので望ましくありません。知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難であるため、重症化の徴候を見逃さないために、感染した場合は原則的に入院対応をお願いします。

また、施設内でクラスターが発生した場合は、市町村や都道府県の職員も含めた最大限の応援体制を整えてください。

3. 障害のある人や支援者へ PCR 検査を早急に実施すること

障害のある人の多くは感染した場合に重症化リスクが高く、生活上、常に人による支援を必要としています。特に、知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難な人が多くいます。障害のある人や支援者が PCR 検査を必要に応じて何度でも受けられるよう財政措置を含め早急に対策してください。

4. 障害福祉事業所の報酬の日額払い制度を抜本的に改めること

障害のある人が通う事業所は、感染リスク軽減のため、一時休所や、密をさけるために通所人員を減らす必要が生じます。しかし、日額払いの報酬支払制度では、感染リスク軽減策をとることが、事業所の存続を危うくすることにつながります。現在の在宅支援の柔軟な取り扱いは、各自治体の判断によって運用がまちまちです。

障害のある人が事業所を安心して利用できるようにするため、上記のような臨時的な対策ではなく、事業運営にあたる費用は月額払い、利用者の個別給付に必要な費用は日額払いとし、基本報酬で安定経営ができる報酬体系に抜本的に改めてください。

以上

2021年1月15日

秋田県知事
佐竹 敬久 様

一般社団法人全国知的障害者施設家族会連合会
理事長 由 岐 透
兵庫県神戸市中央区橋通 3-4-1
神戸市立総合福祉センター 2F
TEL 078-371-3930

緊急要望

昨年1月6日、厚生労働省が「中国の武漢市で原因不明の肺炎の発生が複数報告されている」と発表したことが新型コロナウイルス感染についての日本での第一報でありました。あれから1年が経過し、新型コロナウイルスは世界中に蔓延しました。日本では感染拡大の勢いが増すばかりで、さまざまな領域で生活困難を抱える人びとを苦しめており、全国知的障害者施設家族会連合会は、今般下記の4項目について緊急に要望します。

1. 医療崩壊の中で「いのちの選別」をおこなわないこと

感染者急増の中で、命を賭した献身的な医療現場の深刻な状況が報道されています。こうした状況下では、医療崩壊を理由に治療の優先順位をつける「いのちの選別」が進められないかと危惧します。医療機関や保健所等が「いのちの選別」を行わないよう徹底して下さい。医療・保健分野へ必要な予算、人的体制を早急かつ抜本的に強化して下さい。

2. 感染者が発生した場合の対策と支援を実施すること

障害者支援施設やグループホームで、障害のある人が感染した場合に、障害を理由に入院拒否をしないこと、そして、入院した際には 障害特性に合わせた支援や合理的配慮が講じられるような体制が整えられるように医療機関への支援策を講じてください。

なお、施設内でのゾーニングは、感染をさらに拡大させる危険性があるので望ましくありません。知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難であるため、重症化の徴候を見過ごさないために、感染した場合は原則的に入院対応をお願いします。

また、施設内でクラスターが発生した場合は、市町村や都道府県の職員も含めた最大限の応援体制を整えてください。

3. 障害のある人や支援者へ PCR 検査を早急に実施すること

障害のある人の多くは感染した場合に重症化リスクが高く、生活上、常に人による支援を必要としています。特に、知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難な人が多くいます。障害のある人や支援者が PCR 検査を必要に応じて何度でも受けられるよう財政措置を含め早急に対策してください。

4. 障害福祉事業所の報酬の日額払い制度を抜本的に改めること

障害のある人が通う事業所は、感染リスク軽減のため、一時休所や、密をさけるために通所人員を減らす必要が生じます。しかし、日額払いの報酬支払制度では、感染リスク軽減策をとることが、事業所の存続を危うくすることにつながります。現在の在宅支援の柔軟な取り扱いは、各自治体の判断によって運用がまちまちです。

障害のある人が事業所を安心して利用できるようにするため、上記のような臨時的な対策ではなく、事業運営にあたる費用は月額払い、利用者の個別給付に必要な費用は日額払いとし、基本報酬で安定経営ができる報酬体系に抜本的に改めてください。

以上

2021年1月15日

山形県知事
吉村 美栄子 様

一般社団法人全国知的障害者施設家族会連合会
理事長 由 岐 透
兵庫県神戸市中央区橘通3-4-1
神戸市立総合福祉センター2F
TEL 078-371-3930

緊急要望

昨年1月6日、厚生労働省が「中国の武漢市で原因不明の肺炎の発生が複数報告されている」と発表したことが新型コロナウイルス感染についての日本での第一報でありました。あれから1年が経過し、新型コロナウイルスは世界中に蔓延しました。日本では感染拡大の勢いが増すばかりで、さまざまな領域で生活困難を抱える人びとを苦しめており、全国知的障害者施設家族会連合会は、今般下記の4項目について緊急に要望します。

1. 医療崩壊の中で「いのちの選別」をおこなわないこと

感染者急増の中で、命を賭した献身的な医療現場の深刻な状況が報道されています。こうした状況下では、医療崩壊を理由に治療の優先順位をつける「いのちの選別」が進められないかと危惧します。医療機関や保健所等が「いのちの選別」を行わないよう徹底して下さい。医療・保健分野へ必要な予算、人的体制を早急かつ抜本的に強化して下さい。

2. 感染者が発生した場合の対策と支援を実施すること

障害者支援施設やグループホームで、障害のある人が感染した場合に、障害を理由に入院拒否をしないこと、そして、入院した際には障害特性に合わせた支援や合理的配慮が講じられるような体制が整えられるように医療機関への支援策を講じてください。

なお、施設内でのゾーニングは、感染をさらに拡大させる危険性があるので望ましくありません。知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難であるため、重症化の徴候を見過ごさないために、感染した場合は原則的に入院対応をお願いします。

また、施設内でクラスターが発生した場合は、市町村や都道府県の職員も含めた最大限の応援体制を整えてください。

3. 障害のある人や支援者へ PCR 検査を早急に実施すること

障害のある人の多くは感染した場合に重症化リスクが高く、生活上、常に人による支援を必要としています。特に、知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難な人が多くいます。障害のある人や支援者が PCR 検査を必要に応じて何度でも受けられるよう財政措置を含め早急に対策してください。

4. 障害福祉事業所の報酬の日額払い制度を抜本的に改めること

障害のある人が通う事業所は、感染リスク軽減のため、一時休所や、密をさけるために通所人員を減らす必要が生じます。しかし、日額払いの報酬支払制度では、感染リスク軽減策をとることが、事業所の存続を危うくすることにつながります。現在の在宅支援の柔軟な取り扱いは、各自治体の判断によって運用がまちまちです。

障害のある人が事業所を安心して利用できるようにするため、上記のような臨時的な対策ではなく、事業運営にあたる費用は月額払い、利用者の個別給付に必要な費用は日額払いとし、基本報酬で安定経営ができる報酬体系に抜本的に改めてください。

以上

2021年1月15日

福島県知事
内堀 雅雄 様

一般社団法人全国知的障害者施設家族会連合会
理事長 由 岐 透
兵庫県神戸市中央区橋通3-4-1
神戸市立総合福祉センター2F
TEL 078-371-3930

緊急要望

昨年1月6日、厚生労働省が「中国の武漢市で原因不明の肺炎の発生が複数報告されている」と発表したことが新型コロナウイルス感染についての日本での第一報でありました。あれから1年が経過し、新型コロナウイルスは世界中に蔓延しました。日本では感染拡大の勢いが増すばかりで、さまざまな領域で生活困難を抱える人びとを苦しめており、全国知的障害者施設家族会連合会は、今般下記の4項目について緊急に要望します。

1. 医療崩壊の中で「いのちの選別」をおこなわないこと

感染者急増の中で、命を賭した献身的な医療現場の深刻な状況が報道されています。こうした状況下では、医療崩壊を理由に治療の優先順位をつける「いのちの選別」が進められないかと危惧します。医療機関や保健所等が「いのちの選別」を行わないよう徹底して下さい。医療・保健分野へ必要な予算、人的体制を早急かつ抜本的に強化して下さい。

2. 感染者が発生した場合の対策と支援を実施すること

障害者支援施設やグループホームで、障害のある人が感染した場合に、障害を理由に入院拒否をしないこと、そして、入院した際には 障害特性に合わせた支援や合理的配慮が講じられるような体制が整えられるように医療機関への支援策を講じてください。

なお、施設内でのゾーニングは、感染をさらに拡大させる危険性があるので望ましくありません。知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難であるため、重症化の徴候を見逃ごさないために、感染した場合は原則的に入院対応をお願いします。

また、施設内でクラスターが発生した場合は、市町村や都道府県の職員も含めた最大限の応援体制を整えてください。

3. 障害のある人や支援者へ PCR 検査を早急を実施すること

障害のある人の多くは感染した場合に重症化リスクが高く、生活上、常に人による支援を必要としています。特に、知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難な人が多くいます。障害のある人や支援者が PCR 検査を必要に応じて何度でも受けられるよう財政措置を含め早急に対策してください。

4. 障害福祉事業所の報酬の日額払い制度を抜本的に改めること

障害のある人が通う事業所は、感染リスク軽減のため、一時休所や、密をさけるために通所人員を減らす必要が生じます。しかし、日額払いの報酬支払制度では、感染リスク軽減策をとることが、事業所の存続を危うくすることにつながります。現在の在宅支援の柔軟な取り扱い、各自治体の判断によって運用がまちまちです。

障害のある人が事業所を安心して利用できるようにするため、上記のような臨時的な対策ではなく、事業運営にあたる費用は月額払い、利用者の個別給付に必要な費用は日額払いとし、基本報酬で安定経営ができる報酬体系に抜本的に改めてください。

以上

2021年1月15日

茨城県知事
大井川 和彦 様

一般社団法人全国知的障害者施設家族会連合会
理事長 由岐 透
兵庫県神戸市中央区橘通3-4-1
神戸市立総合福祉センター2F
TEL 078-371-3930

緊急要望

昨年1月6日、厚生労働省が「中国の武漢市で原因不明の肺炎の発生が複数報告されている」と発表したことが新型コロナウイルス感染についての日本での第一報でありました。あれから1年が経過し、新型コロナウイルスは世界中に蔓延しました。日本では感染拡大の勢いが増すばかりで、さまざまな領域で生活困難を抱える人びとを苦しめており、全国知的障害者施設家族会連合会は、今般下記の4項目について緊急に要望します。

1. 医療崩壊の中で「いのちの選別」をおこなわないこと

感染者急増の中で、命を賭した献身的な医療現場の深刻な状況が報道されています。こうした状況下では、医療崩壊を理由に治療の優先順位をつける「いのちの選別」が進められないかと危惧します。医療機関や保健所等が「いのちの選別」を行わないよう徹底して下さい。医療・保健分野へ必要な予算、人的体制を早急かつ抜本的に強化して下さい。

2. 感染者が発生した場合の対策と支援を実施すること

障害者支援施設やグループホームで、障害のある人が感染した場合に、障害を理由に入院拒否をしないこと、そして、入院した際には障害特性に合わせた支援や合理的配慮が講じられるような体制が整えられるように医療機関への支援策を講じてください。

なお、施設内でのゾーニングは、感染をさらに拡大させる危険性があるので望ましくありません。知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難であるため、重症化の徴候を見逃さないために、感染した場合は原則的に入院対応をお願いします。

また、施設内でクラスターが発生した場合は、市町村や都道府県の職員も含めた最大限の応援体制を整えてください。

3. 障害のある人や支援者へ PCR 検査を早急を実施すること

障害のある人の多くは感染した場合に重症化リスクが高く、生活上、常に人による支援を必要としています。特に、知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難な人が多くいます。障害のある人や支援者が PCR 検査を必要に応じて何度でも受けられるよう財政措置を含め早急に対策してください。

4. 障害福祉事業所の報酬の日額払い制度を抜本的に改めること

障害のある人が通う事業所は、感染リスク軽減のため、一時休所や、密をさけるために通所人員を減らす必要が生じます。しかし、日額払いの報酬支払制度では、感染リスク軽減策をとることが、事業所の存続を危うくすることにつながります。現在の在宅支援の柔軟な取り扱いは、各自治体の判断によって運用がまちまちです。

障害のある人が事業所を安心して利用できるようにするため、上記のような臨時的な対策ではなく、事業運営にあたる費用は月額払い、利用者の個別給付に必要な費用は日額払いとし、基本報酬で安定経営ができる報酬体系に抜本的に改めてください。

以上

2021年1月15日

栃木県知事
福田 富一 様

一般社団法人全国知的障害者施設家族会連合会
理事長 由 岐 透
兵庫県神戸市中央区橋通3-4-1
神戸市立総合福祉センター2F
TEL 078-371-3930

緊急要望

昨年1月6日、厚生労働省が「中国の武漢市で原因不明の肺炎の発生が複数報告されている」と発表したことが新型コロナウイルス感染についての日本での第一報でありました。あれから1年が経過し、新型コロナウイルスは世界中に蔓延しました。日本では感染拡大の勢いが増すばかりで、さまざまな領域で生活困難を抱える人びとを苦しめており、全国知的障害者施設家族会連合会は、今般下記の4項目について緊急に要望します。

1. 医療崩壊の中で「いのちの選別」をおこなわないこと

感染者急増の中で、命を賭した献身的な医療現場の深刻な状況が報道されています。こうした状況下では、医療崩壊を理由に治療の優先順位をつける「いのちの選別」が進められないかと危惧します。医療機関や保健所等が「いのちの選別」を行わないよう徹底して下さい。医療・保健分野へ必要な予算、人的体制を早急かつ抜本的に強化して下さい。

2. 感染者が発生した場合の対策と支援を実施すること

障害者支援施設やグループホームで、障害のある人が感染した場合に、障害を理由に入院拒否をしないこと、そして、入院した際には 障害特性に合わせた支援や合理的配慮が講じられるような体制が整えられるように医療機関への支援策を講じてください。

なお、施設内でのゾーニングは、感染をさらに拡大させる危険性があるので望ましくありません。知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難であるため、重症化の徴候を見過ごさないために、感染した場合は原則的に入院対応をお願いします。

また、施設内でクラスターが発生した場合は、市町村や都道府県の職員も含めた最大限の応援体制を整えてください。

3. 障害のある人や支援者へ PCR 検査を早急に実施すること

障害のある人の多くは感染した場合に重症化リスクが高く、生活上、常に人による支援を必要としています。特に、知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難な人が多くいます。障害のある人や支援者が PCR 検査を必要に応じて何度でも受けられるよう財政措置を含め早急に対策してください。

4. 障害福祉事業所の報酬の日額払い制度を抜本的に改めること

障害のある人が通う事業所は、感染リスク軽減のため、一時休所や、密をさけるために通所人員を減らす必要が生じます。しかし、日額払いの報酬支払制度では、感染リスク軽減策をとることが、事業所の存続を危うくすることにつながります。現在の在宅支援の柔軟な取り扱いは、各自治体の判断によって運用がまちまちです。

障害のある人が事業所を安心して利用できるようにするため、上記のような臨時的な対策ではなく、事業運営にあたる費用は月額払い、利用者の個別給付に必要な費用は日額払いとし、基本報酬で安定経営ができる報酬体系に抜本的に改めてください。

以上

2021年1月15日

群馬県知事
山本 一太 様

一般社団法人全国知的障害者施設家族会連合会
理事長 由岐 透
兵庫県神戸市中央区橘通3-4-1
神戸市立総合福祉センター2F
TEL 078-371-3930

緊急要望

昨年1月6日、厚生労働省が「中国の武漢市で原因不明の肺炎の発生が複数報告されている」と発表したことが新型コロナウイルス感染についての日本での第一報でありました。あれから1年が経過し、新型コロナウイルスは世界中に蔓延しました。日本では感染拡大の勢いが増すばかりで、さまざまな領域で生活困難を抱える人びとを苦しめており、全国知的障害者施設家族会連合会は、今般下記の4項目について緊急に要望します。

1. 医療崩壊の中で「いのちの選別」をおこなわないこと

感染者急増の中で、命を賭した献身的な医療現場の深刻な状況が報道されています。こうした状況下では、医療崩壊を理由に治療の優先順位をつける「いのちの選別」が進められないかと危惧します。医療機関や保健所等が「いのちの選別」を行わないよう徹底して下さい。医療・保健分野へ必要な予算、人的体制を早急かつ抜本的に強化して下さい。

2. 感染者が発生した場合の対策と支援を実施すること

障害者支援施設やグループホームで、障害のある人が感染した場合に、障害を理由に入院拒否をしないこと、そして、入院した際には障害特性に合わせた支援や合理的配慮が講じられるような体制が整えられるように医療機関への支援策を講じてください。

なお、施設内でのゾーニングは、感染をさらに拡大させる危険性があるので望ましくありません。知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難であるため、重症化の徴候を見過ごさないために、感染した場合は原則的に入院対応をお願いします。

また、施設内でクラスターが発生した場合は、市町村や都道府県の職員も含めた最大限の応援体制を整えてください。

3. 障害のある人や支援者へ PCR 検査を早急を実施すること

障害のある人の多くは感染した場合に重症化リスクが高く、生活上、常に人による支援を必要としています。特に、知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難な人が多くいます。障害のある人や支援者が PCR 検査を必要に応じて何度でも受けられるよう財政措置を含め早急に対策してください。

4. 障害福祉事業所の報酬の日額払い制度を抜本的に改めること

障害のある人が通う事業所は、感染リスク軽減のため、一時休所や、密をさけるために通所人員を減らす必要が生じます。しかし、日額払いの報酬支払制度では、感染リスク軽減策をとることが、事業所の存続を危うくすることにつながります。現在の在宅支援の柔軟な取り扱いは、各自治体の判断によって運用がまちまちです。

障害のある人が事業所を安心して利用できるようにするため、上記のような臨時的な対策ではなく、事業運営にあたる費用は月額払い、利用者の個別給付に必要な費用は日額払いとし、基本報酬で安定経営ができる報酬体系に抜本的に改めてください。

以上

2021年1月15日

埼玉県知事
大野 元裕 様

一般社団法人全国知的障害者施設家族会連合会
理事長 由岐 透
兵庫県神戸市中央区橋通3-4-1
神戸市立総合福祉センター2F
TEL 078-371-3930

緊急要望

昨年1月6日、厚生労働省が「中国の武漢市で原因不明の肺炎の発生が複数報告されている」と発表したことが新型コロナウイルス感染についての日本での第一報でありました。あれから1年が経過し、新型コロナウイルスは世界中に蔓延しました。日本では感染拡大の勢いが増すばかりで、さまざまな領域で生活困難を抱える人びとを苦しめており、全国知的障害者施設家族会連合会は、今般下記の4項目について緊急に要望します。

1. 医療崩壊の中で「いのちの選別」をおこなわないこと

感染者急増の中で、命を賭した献身的な医療現場の深刻な状況が報道されています。こうした状況下では、医療崩壊を理由に治療の優先順位をつける「いのちの選別」が進められないかと危惧します。医療機関や保健所等が「いのちの選別」を行わないよう徹底して下さい。医療・保健分野へ必要な予算、人的体制を早急かつ抜本的に強化して下さい。

2. 感染者が発生した場合の対策と支援を実施すること

障害者支援施設やグループホームで、障害のある人が感染した場合に、障害を理由に入院拒否をしないこと、そして、入院した際には障害特性に合わせた支援や合理的配慮が講じられるような体制が整えられるように医療機関への支援策を講じてください。

なお、施設内でのゾーニングは、感染をさらに拡大させる危険性があるので望ましくありません。知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難であるため、重症化の徴候を見逃さないために、感染した場合は原則的に入院対応をお願いします。

また、施設内でクラスターが発生した場合は、市町村や都道府県の職員も含めた最大限の応援体制を整えてください。

3. 障害のある人や支援者へ PCR 検査を早急を実施すること

障害のある人の多くは感染した場合に重症化リスクが高く、生活上、常に人による支援を必要としています。特に、知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難な人が多くいます。障害のある人や支援者が PCR 検査を必要に応じて何度でも受けられるよう財政措置を含め早急に対策してください。

4. 障害福祉事業所の報酬の日額払い制度を抜本的に改めること

障害のある人が通う事業所は、感染リスク軽減のため、一時休所や、密をさけるために通所人員を減らす必要が生じます。しかし、日額払いの報酬支払制度では、感染リスク軽減策をとることが、事業所の存続を危うくすることにつながります。現在の在宅支援の柔軟な取り扱いは、各自治体の判断によって運用がまちまちです。

障害のある人が事業所を安心して利用できるようにするため、上記のような臨時的な対策ではなく、事業運営にあたる費用は月額払い、利用者の個別給付に必要な費用は日額払いとし、基本報酬で安定経営ができる報酬体系に抜本的に改めてください。

以上

2021年1月15日

千葉県知事
森田 健作 様

一般社団法人全国知的障害者施設家族会連合会
理事長 由 岐 透
兵庫県神戸市中央区橘通3-4-1
神戸市立総合福祉センター2F
TEL 078-371-3930

緊急要望

昨年1月6日、厚生労働省が「中国の武漢市で原因不明の肺炎の発生が複数報告されている」と発表したことが新型コロナウイルス感染についての日本での第一報でありました。あれから1年が経過し、新型コロナウイルスは世界中に蔓延しました。日本では感染拡大の勢いが増すばかりで、さまざまな領域で生活困難を抱える人びとを苦しめており、全国知的障害者施設家族会連合会は、今般下記の4項目について緊急に要望します。

1. 医療崩壊の中で「いのちの選別」をおこなわないこと

感染者急増の中で、命を賭した献身的な医療現場の深刻な状況が報道されています。こうした状況下では、医療崩壊を理由に治療の優先順位をつける「いのちの選別」が進められないかと危惧します。医療機関や保健所等が「いのちの選別」を行わないよう徹底して下さい。医療・保健分野へ必要な予算、人的体制を早急かつ抜本的に強化して下さい。

2. 感染者が発生した場合の対策と支援を実施すること

障害者支援施設やグループホームで、障害のある人が感染した場合に、障害を理由に入院拒否をしないこと、そして、入院した際には 障害特性に合わせた支援や合理的配慮が講じられるような体制が整えられるように医療機関への支援策を講じてください。

なお、施設内でのゾーニングは、感染をさらに拡大させる危険性があるので望ましくありません。知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難であるため、重症化の徴候を見過ごさないために、感染した場合は原則的に入院対応をお願いします。

また、施設内でクラスターが発生した場合は、市町村や都道府県の職員も含めた最大限の応援体制を整えてください。

3. 障害のある人や支援者へPCR検査を早急を実施すること

障害のある人の多くは感染した場合に重症化リスクが高く、生活上、常に人による支援を必要としています。特に、知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難な人が多くいます。障害のある人や支援者がPCR検査を必要に応じて何度でも受けられるよう財政措置を含め早急に対策してください。

4. 障害福祉事業所の報酬の日額払い制度を抜本的に改めること

障害のある人が通う事業所は、感染リスク軽減のため、一時休所や、密をさけるために通所人員を減らす必要が生じます。しかし、日額払いの報酬支払制度では、感染リスク軽減策をとることが、事業所の存続を危うくすることにつながります。現在の在宅支援の柔軟な取り扱いは、各自治体の判断によって運用がまちまちです。

障害のある人が事業所を安心して利用できるようにするため、上記のような臨時的な対策ではなく、事業運営にあたる費用は月額払い、利用者の個別給付に必要な費用は日額払いとし、基本報酬で安定経営ができる報酬体系に抜本的に改めてください。

以上

2021年1月15日

東京都知事
小池 百合子 様

一般社団法人全国知的障害者施設家族会連合会
理事長 由 岐 透
兵庫県神戸市中央区橘通 3-4-1
神戸市立総合福祉センター 2F
TEL 078-371-3930

緊急要望

昨年1月6日、厚生労働省が「中国の武漢市で原因不明の肺炎の発生が複数報告されている」と発表したことが新型コロナウイルス感染についての日本での第一報でありました。あれから1年が経過し、新型コロナウイルスは世界中に蔓延しました。日本では感染拡大の勢いが増すばかりで、さまざまな領域で生活困難を抱える人びとを苦しめており、全国知的障害者施設家族会連合会は、今般下記の4項目について緊急に要望します。

1. 医療崩壊の中で「いのちの選別」をおこなわないこと

感染者急増の中で、命を賭した献身的な医療現場の深刻な状況が報道されています。こうした状況下では、医療崩壊を理由に治療の優先順位をつける「いのちの選別」が進められないかと危惧します。医療機関や保健所等が「いのちの選別」を行わないよう徹底して下さい。医療・保健分野へ必要な予算、人的体制を早急かつ抜本的に強化して下さい。

2. 感染者が発生した場合の対策と支援を実施すること

障害者支援施設やグループホームで、障害のある人が感染した場合に、障害を理由に入院拒否をしないこと、そして、入院した際には 障害特性に合わせた支援や合理的配慮が講じられるような体制が整えられるように医療機関への支援策を講じてください。

なお、施設内でのゾーニングは、感染をさらに拡大させる危険性があるので望ましくありません。知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難であるため、重症化の徴候を見過ごさないために、感染した場合は原則的に入院対応をお願いします。

また、施設内でクラスターが発生した場合は、市町村や都道府県の職員も含めた最大限の応援体制を整えてください。

3. 障害のある人や支援者へ PCR 検査を早急に実施すること

障害のある人の多くは感染した場合に重症化リスクが高く、生活上、常に人による支援を必要としています。特に、知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難な人が多くいます。障害のある人や支援者が PCR 検査を必要に応じて何度でも受けられるよう財政措置を含め早急に対策してください。

4. 障害福祉事業所の報酬の日額払い制度を抜本的に改めること

障害のある人が通う事業所は、感染リスク軽減のため、一時休所や、密をさけるために通所人員を減らす必要が生じます。しかし、日額払いの報酬支払制度では、感染リスク軽減策をとることが、事業所の存続を危うくすることにつながります。現在の在宅支援の柔軟な取り扱いは、各自治体の判断によって運用がまちまちです。

障害のある人が事業所を安心して利用できるようにするため、上記のような臨時的な対策ではなく、事業運営にあたる費用は月額払い、利用者の個別給付に必要な費用は日額払いとし、基本報酬で安定経営ができる報酬体系に抜本的に改めてください。

以上

2021年1月15日

神奈川県知事
黒岩 祐治 様

一般社団法人全国知的障害者施設家族会連合会
理事長 由 岐 透
兵庫県神戸市中央区橘通3-4-1
神戸市立総合福祉センター2F
TEL 078-371-3930

緊急要望

昨年1月6日、厚生労働省が「中国の武漢市で原因不明の肺炎の発生が複数報告されている」と発表したことが新型コロナウイルス感染についての日本での第一報でありました。あれから1年が経過し、新型コロナウイルスは世界中に蔓延しました。日本では感染拡大の勢いが増すばかりで、さまざまな領域で生活困難を抱える人びとを苦しめており、全国知的障害者施設家族会連合会は、今般下記の4項目について緊急に要望します。

1. 医療崩壊の中で「いのちの選別」をおこなわないこと

感染者急増の中で、命を賭した献身的な医療現場の深刻な状況が報道されています。こうした状況下では、医療崩壊を理由に治療の優先順位をつける「いのちの選別」が進められないかと危惧します。医療機関や保健所等が「いのちの選別」を行わないよう徹底して下さい。医療・保健分野へ必要な予算、人的体制を早急かつ抜本的に強化して下さい。

2. 感染者が発生した場合の対策と支援を実施すること

障害者支援施設やグループホームで、障害のある人が感染した場合に、障害を理由に入院拒否をしないこと、そして、入院した際には障害特性に合わせた支援や合理的配慮が講じられるような体制が整えられるように医療機関への支援策を講じてください。

なお、施設内でのゾーニングは、感染をさらに拡大させる危険性があるので望ましくありません。知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難であるため、重症化の徴候を見過ごさないために、感染した場合は原則的に入院対応をお願いします。

また、施設内でクラスターが発生した場合は、市町村や都道府県の職員も含めた最大限の応援体制を整えてください。

3. 障害のある人や支援者へ PCR 検査を早急に実施すること

障害のある人の多くは感染した場合に重症化リスクが高く、生活上、常に人による支援を必要としています。特に、知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難な人が多くいます。障害のある人や支援者が PCR 検査を必要に応じて何度でも受けられるよう財政措置を含め早急に対策してください。

4. 障害福祉事業所の報酬の日額払い制度を抜本的に改めること

障害のある人が通う事業所は、感染リスク軽減のため、一時休所や、密をさけるために通所人員を減らす必要が生じます。しかし、日額払いの報酬支払制度では、感染リスク軽減策をとることが、事業所の存続を危うくすることにつながります。現在の在宅支援の柔軟な取り扱いは、各自治体の判断によって運用がまちまちです。

障害のある人が事業所を安心して利用できるようにするため、上記のような臨時的な対策ではなく、事業運営にあたる費用は月額払い、利用者の個別給付に必要な費用は日額払いとし、基本報酬で安定経営ができる報酬体系に抜本的に改めてください。

以上

2021年1月15日

新潟県知事
花角 英世 様

一般社団法人全国知的障害者施設家族会連合会
理事長 由岐 透
兵庫県神戸市中央区橘通 3-4-1
神戸市立総合福祉センター 2F
TEL 078-371-3930

緊急要望

昨年1月6日、厚生労働省が「中国の武漢市で原因不明の肺炎の発生が複数報告されている」と発表したことが新型コロナウイルス感染についての日本での第一報でありました。あれから1年が経過し、新型コロナウイルスは世界中に蔓延しました。日本では感染拡大の勢いが増すばかりで、さまざまな領域で生活困難を抱える人びとを苦しめており、全国知的障害者施設家族会連合会は、今般下記の4項目について緊急に要望します。

1. 医療崩壊の中で「いのちの選別」をおこなわないこと

感染者急増の中で、命を賭した献身的な医療現場の深刻な状況が報道されています。こうした状況下では、医療崩壊を理由に治療の優先順位をつける「いのちの選別」が進められないかと危惧します。医療機関や保健所等が「いのちの選別」を行わないよう徹底して下さい。医療・保健分野へ必要な予算、人的体制を早急かつ抜本的に強化して下さい。

2. 感染者が発生した場合の対策と支援を実施すること

障害者支援施設やグループホームで、障害のある人が感染した場合に、障害を理由に入院拒否をしないこと、そして、入院した際には障害特性に合わせた支援や合理的配慮が講じられるような体制が整えられるように医療機関への支援策を講じてください。

なお、施設内でのゾーニングは、感染をさらに拡大させる危険性があるので望ましくありません。知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難であるため、重症化の徴候を見過ごさないために、感染した場合は原則的に入院対応をお願いします。

また、施設内でクラスターが発生した場合は、市町村や都道府県の職員も含めた最大限の応援体制を整えてください。

3. 障害のある人や支援者へ PCR 検査を早急に実施すること

障害のある人の多くは感染した場合に重症化リスクが高く、生活上、常に人による支援を必要としています。特に、知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難な人が多くいます。障害のある人や支援者が PCR 検査を必要に応じて何度でも受けられるよう財政措置を含め早急に対策してください。

4. 障害福祉事業所の報酬の日額払い制度を抜本的に改めること

障害のある人が通う事業所は、感染リスク軽減のため、一時休所や、密をさけるために通所人員を減らす必要が生じます。しかし、日額払いの報酬支払制度では、感染リスク軽減策をとることが、事業所の存続を危うくすることにつながります。現在の在宅支援の柔軟な取り扱いは、各自治体の判断によって運用がまちまちです。

障害のある人が事業所を安心して利用できるようにするため、上記のような臨時的な対策ではなく、事業運営にあたる費用は月額払い、利用者の個別給付に必要な費用は日額払いとし、基本報酬で安定経営ができる報酬体系に抜本的に改めてください。

以上

2021年1月15日

富山県知事
新田 八朗 様

一般社団法人全国知的障害者施設家族会連合会
理事長 由 岐 透
兵庫県神戸市中央区楠通3-4-1
神戸市立総合福祉センター2F
TEL 078-371-3930

緊急要望

昨年1月6日、厚生労働省が「中国の武漢市で原因不明の肺炎の発生が複数報告されている」と発表したことが新型コロナウイルス感染についての日本での第一報でありました。あれから1年が経過し、新型コロナウイルスは世界中に蔓延しました。日本では感染拡大の勢いが増すばかりで、さまざまな領域で生活困難を抱える人びとを苦しめており、全国知的障害者施設家族会連合会は、今般下記の4項目について緊急に要望します。

1. 医療崩壊の中で「いのちの選別」をおこなわないこと

感染者急増の中で、命を賭した献身的な医療現場の深刻な状況が報道されています。こうした状況下では、医療崩壊を理由に治療の優先順位をつける「いのちの選別」が進められないかと危惧します。医療機関や保健所等が「いのちの選別」を行わないよう徹底して下さい。医療・保健分野へ必要な予算、人的体制を早急かつ抜本的に強化して下さい。

2. 感染者が発生した場合の対策と支援を実施すること

障害者支援施設やグループホームで、障害のある人が感染した場合に、障害を理由に入院拒否をしないこと、そして、入院した際には 障害特性に合わせた支援や合理的配慮が講じられるような体制が整えられるように医療機関への支援策を講じてください。

なお、施設内でのゾーニングは、感染をさらに拡大させる危険性があるので望ましくありません。知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難であるため、重症化の徴候を見逃さないために、感染した場合は原則的に入院対応をお願いします。

また、施設内でクラスターが発生した場合は、市町村や都道府県の職員も含めた最大限の応援体制を整えてください。

3. 障害のある人や支援者へ PCR 検査を早急を実施すること

障害のある人の多くは感染した場合に重症化リスクが高く、生活上、常に人による支援を必要としています。特に、知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難な人が多くいます。障害のある人や支援者が PCR 検査を必要に応じて何度でも受けられるよう財政措置を含め早急に対策してください。

4. 障害福祉事業所の報酬の日額払い制度を抜本的に改めること

障害のある人が通う事業所は、感染リスク軽減のため、一時休所や、密をさけるために通所人員を減らす必要が生じます。しかし、日額払いの報酬支払制度では、感染リスク軽減策をとることが、事業所の存続を危うくすることにつながります。現在の在宅支援の柔軟な取り扱いは、各自治体の判断によって運用がまちまちです。

障害のある人が事業所を安心して利用できるようにするため、上記のような臨時的な対策ではなく、事業運営にあたる費用は月額払い、利用者の個別給付に必要な費用は日額払いとし、基本報酬で安定経営ができる報酬体系に抜本的に改めてください。

以上

2021年1月15日

石川県知事
谷本 正憲 様

一般社団法人全国知的障害者施設家族会連合会
理事長 由岐 透
兵庫県神戸市中央区橋通3-4-1
神戸市立総合福祉センター2F
TEL 078-371-3930

緊急要望

昨年1月6日、厚生労働省が「中国の武漢市で原因不明の肺炎の発生が複数報告されている」と発表したことが新型コロナウイルス感染についての日本での第一報でありました。あれから1年が経過し、新型コロナウイルスは世界中に蔓延しました。日本では感染拡大の勢いが増すばかりで、さまざまな領域で生活困難を抱える人びとを苦しめており、全国知的障害者施設家族会連合会は、今般下記の4項目について緊急に要望します。

1. 医療崩壊の中で「いのちの選別」をおこなわないこと

感染者急増の中で、命を賭した献身的な医療現場の深刻な状況が報道されています。こうした状況下では、医療崩壊を理由に治療の優先順位をつける「いのちの選別」が進められないかと危惧します。医療機関や保健所等が「いのちの選別」を行わないよう徹底して下さい。医療・保健分野へ必要な予算、人的体制を早急かつ抜本的に強化して下さい。

2. 感染者が発生した場合の対策と支援を実施すること

障害者支援施設やグループホームで、障害のある人が感染した場合に、障害を理由に入院拒否をしないこと、そして、入院した際には障害特性に合わせた支援や合理的配慮が講じられるような体制が整えられるように医療機関への支援策を講じてください。

なお、施設内でのゾーニングは、感染をさらに拡大させる危険性があるので望ましくありません。知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難であるため、重症化の徴候を見逃さないために、感染した場合は原則的に入院対応をお願いします。

また、施設内でクラスターが発生した場合は、市町村や都道府県の職員も含めた最大限の応援体制を整えてください。

3. 障害のある人や支援者へ PCR 検査を早急を実施すること

障害のある人の多くは感染した場合に重症化リスクが高く、生活上、常に人による支援を必要としています。特に、知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難な人が多くいます。障害のある人や支援者が PCR 検査を必要に応じて何度でも受けられるよう財政措置を含め早急に対策してください。

4. 障害福祉事業所の報酬の日額払い制度を抜本的に改めること

障害のある人が通う事業所は、感染リスク軽減のため、一時休所や、密をさけるために通所人員を減らす必要が生じます。しかし、日額払いの報酬支払制度では、感染リスク軽減策をとることが、事業所の存続を危うくすることにつながります。現在の在宅支援の柔軟な取り扱いは、各自治体の判断によって運用がまちまちです。

障害のある人が事業所を安心して利用できるようにするため、上記のような臨時的な対策ではなく、事業運営にあたる費用は月額払い、利用者の個別給付に必要な費用は日額払いとし、基本報酬で安定経営ができる報酬体系に抜本的に改めてください。

以上

2021年1月15日

福井県知事
杉本 達治 様

一般社団法人全国知的障害者施設家族会連合会
理事長 由岐 透
兵庫県神戸市中央区橘通3-4-1
神戸市立総合福祉センター2F
TEL 078-371-3930

緊急要望

昨年1月6日、厚生労働省が「中国の武漢市で原因不明の肺炎の発生が複数報告されている」と発表したことが新型コロナウイルス感染についての日本での第一報でありました。あれから1年が経過し、新型コロナウイルスは世界中に蔓延しました。日本では感染拡大の勢いが増すばかりで、さまざまな領域で生活困難を抱える人びとを苦しめており、全国知的障害者施設家族会連合会は、今般下記の4項目について緊急に要望します。

1. 医療崩壊の中で「いのちの選別」をおこなわないこと

感染者急増の中で、命を賭した献身的な医療現場の深刻な状況が報道されています。こうした状況下では、医療崩壊を理由に治療の優先順位をつける「いのちの選別」が進められないかと危惧します。医療機関や保健所等が「いのちの選別」を行わないよう徹底して下さい。医療・保健分野へ必要な予算、人的体制を早急かつ抜本的に強化して下さい。

2. 感染者が発生した場合の対策と支援を実施すること

障害者支援施設やグループホームで、障害のある人が感染した場合に、障害を理由に入院拒否をしないこと、そして、入院した際には障害特性に合わせた支援や合理的配慮が講じられるような体制が整えられるように医療機関への支援策を講じてください。

なお、施設内でのゾーニングは、感染をさらに拡大させる危険性があるので望ましくありません。知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難であるため、重症化の徴候を見逃さないために、感染した場合は原則的に入院対応をお願いします。

また、施設内でクラスターが発生した場合は、市町村や都道府県の職員も含めた最大限の応援体制を整えてください。

3. 障害のある人や支援者へ PCR 検査を早急を実施すること

障害のある人の多くは感染した場合に重症化リスクが高く、生活上、常に人による支援を必要としています。特に、知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難な人が多くいます。障害のある人や支援者が PCR 検査を必要に応じて何度でも受けられるよう財政措置を含め早急に対策してください。

4. 障害福祉事業所の報酬の日額払い制度を抜本的に改めること

障害のある人が通う事業所は、感染リスク軽減のため、一時休所や、密をさけるために通所人員を減らす必要が生じます。しかし、日額払いの報酬支払制度では、感染リスク軽減策をとることが、事業所の存続を危うくすることにつながります。現在の在宅支援の柔軟な取り扱いは、各自治体の判断によって運用がまちまちです。

障害のある人が事業所を安心して利用できるようにするため、上記のような臨時的な対策ではなく、事業運営にあたる費用は月額払い、利用者の個別給付に必要な費用は日額払いとし、基本報酬で安定経営ができる報酬体系に抜本的に改めてください。

以上

2021年1月15日

山梨県知事
長崎 幸太郎 様

一般社団法人全国知的障害者施設家族会連合会
理事長 由 岐 透
兵庫県神戸市中央区橘通3-4-1
神戸市立総合福祉センター2F
TEL 078-371-3930

緊急要望

昨年1月6日、厚生労働省が「中国の武漢市で原因不明の肺炎の発生が複数報告されている」と発表したことが新型コロナウイルス感染についての日本での第一報でありました。あれから1年が経過し、新型コロナウイルスは世界中に蔓延しました。日本では感染拡大の勢いが増すばかりで、さまざまな領域で生活困難を抱える人びとを苦しめており、全国知的障害者施設家族会連合会は、今般下記の4項目について緊急に要望します。

1. 医療崩壊の中で「いのちの選別」をおこなわないこと

感染者急増の中で、命を賭した献身的な医療現場の深刻な状況が報道されています。こうした状況下では、医療崩壊を理由に治療の優先順位をつける「いのちの選別」が進められないかと危惧します。医療機関や保健所等が「いのちの選別」を行わないよう徹底して下さい。医療・保健分野へ必要な予算、人的体制を早急かつ抜本的に強化して下さい。

2. 感染者が発生した場合の対策と支援を実施すること

障害者支援施設やグループホームで、障害のある人が感染した場合に、障害を理由に入院拒否をしないこと、そして、入院した際には 障害特性に合わせた支援や合理的配慮が講じられるような体制が整えられるように医療機関への支援策を講じてください。

なお、施設内でのゾーニングは、感染をさらに拡大させる危険性があるので望ましくありません。知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難であるため、重症化の徴候を見過ごさないために、感染した場合は原則的に入院対応をお願いします。

また、施設内でクラスターが発生した場合は、市町村や都道府県の職員も含めた最大限の応援体制を整えてください。

3. 障害のある人や支援者へ PCR 検査を早急を実施すること

障害のある人の多くは感染した場合に重症化リスクが高く、生活上、常に人による支援を必要としています。特に、知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難な人が多くいます。障害のある人や支援者が PCR 検査を必要に応じて何度でも受けられるよう財政措置を含め早急に対策してください。

4. 障害福祉事業所の報酬の日額払い制度を抜本的に改めること

障害のある人が通う事業所は、感染リスク軽減のため、一時休所や、密をさけるために通所人員を減らす必要が生じます。しかし、日額払いの報酬支払制度では、感染リスク軽減策をとることが、事業所の存続を危うくすることにつながります。現在の在宅支援の柔軟な取り扱いは、各自治体の判断によって運用がまちまちです。

障害のある人が事業所を安心して利用できるようにするため、上記のような臨時的な対策ではなく、事業運営にあたる費用は月額払い、利用者の個別給付に必要な費用は日額払いとし、基本報酬で安定経営ができる報酬体系に抜本的に改めてください。

以上

2021年1月15日

長野県知事
阿部 守一 様

一般社団法人全国知的障害者施設家族会連合会
理事長 由岐 透
兵庫県神戸市中央区橋通3-4-1
神戸市立総合福祉センター2F
TEL 078-371-3930

緊急要望

昨年1月6日、厚生労働省が「中国の武漢市で原因不明の肺炎の発生が複数報告されている」と発表したことが新型コロナウイルス感染についての日本での第一報でありました。あれから1年が経過し、新型コロナウイルスは世界中に蔓延しました。日本では感染拡大の勢いが増すばかりで、さまざまな領域で生活困難を抱える人びとを苦しめており、全国知的障害者施設家族会連合会は、今般下記の4項目について緊急に要望します。

1. 医療崩壊の中で「いのちの選別」をおこなわないこと

感染者急増の中で、命を賭した献身的な医療現場の深刻な状況が報道されています。こうした状況下では、医療崩壊を理由に治療の優先順位をつける「いのちの選別」が進められないかと危惧します。医療機関や保健所等が「いのちの選別」を行わないよう徹底して下さい。医療・保健分野へ必要な予算、人的体制を早急かつ抜本的に強化して下さい。

2. 感染者が発生した場合の対策と支援を実施すること

障害者支援施設やグループホームで、障害のある人が感染した場合に、障害を理由に入院拒否をしないこと、そして、入院した際には障害特性に合わせた支援や合理的配慮が講じられるような体制が整えられるように医療機関への支援策を講じてください。

なお、施設内でのゾーニングは、感染をさらに拡大させる危険性があるので望ましくありません。知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難であるため、重症化の徴候を見逃さないために、感染した場合は原則的に入院対応をお願いします。

また、施設内でクラスターが発生した場合は、市町村や都道府県の職員も含めた最大限の応援体制を整えてください。

3. 障害のある人や支援者へ PCR 検査を早急に実施すること

障害のある人の多くは感染した場合に重症化リスクが高く、生活上、常に人による支援を必要としています。特に、知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難な人が多くいます。障害のある人や支援者が PCR 検査を必要に応じて何度でも受けられるよう財政措置を含め早急に対策してください。

4. 障害福祉事業所の報酬の日額払い制度を抜本的に改めること

障害のある人が通う事業所は、感染リスク軽減のため、一時休所や、密をさけるために通所人員を減らす必要が生じます。しかし、日額払いの報酬支払制度では、感染リスク軽減策をとることが、事業所の存続を危うくすることにつながります。現在の在宅支援の柔軟な取り扱いは、各自治体の判断によって運用がまちまちです。

障害のある人が事業所を安心して利用できるようにするため、上記のような臨時的な対策ではなく、事業運営にあたる費用は月額払い、利用者の個別給付に必要な費用は日額払いとし、基本報酬で安定経営ができる報酬体系に抜本的に改めてください。

以上

2021年1月15日

岐阜県知事
古田 肇 様

一般社団法人全国知的障害者施設家族会連合会
理事長 由 岐 透
兵庫県神戸市中央区橘通3-4-1
神戸市立総合福祉センター2F
TEL 078-371-3930

緊急要望

昨年1月6日、厚生労働省が「中国の武漢市で原因不明の肺炎の発生が複数報告されている」と発表したことが新型コロナウイルス感染についての日本での第一報でありました。あれから1年が経過し、新型コロナウイルスは世界中に蔓延しました。日本では感染拡大の勢いが増すばかりで、さまざまな領域で生活困難を抱える人びとを苦しめており、全国知的障害者施設家族会連合会は、今般下記の4項目について緊急に要望します。

1. 医療崩壊の中で「いのちの選別」をおこなわないこと

感染者急増の中で、命を賭した献身的な医療現場の深刻な状況が報道されています。こうした状況下では、医療崩壊を理由に治療の優先順位をつける「いのちの選別」が進められないかと危惧します。医療機関や保健所等が「いのちの選別」を行わないよう徹底して下さい。医療・保健分野へ必要な予算、人的体制を早急かつ抜本的に強化して下さい。

2. 感染者が発生した場合の対策と支援を実施すること

障害者支援施設やグループホームで、障害のある人が感染した場合に、障害を理由に入院拒否をしないこと、そして、入院した際には障害特性に合わせた支援や合理的配慮が講じられるような体制が整えられるように医療機関への支援策を講じてください。

なお、施設内でのゾーニングは、感染をさらに拡大させる危険性があるので望ましくありません。知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難であるため、重症化の徴候を見逃さないために、感染した場合は原則的に入院対応をお願いします。

また、施設内でクラスターが発生した場合は、市町村や都道府県の職員も含めた最大限の応援体制を整えてください。

3. 障害のある人や支援者へ PCR 検査を早急を実施すること

障害のある人の多くは感染した場合に重症化リスクが高く、生活上、常に人による支援を必要としています。特に、知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難な人が多くいます。障害のある人や支援者が PCR 検査を必要に応じて何度でも受けられるよう財政措置を含め早急に対策してください。

4. 障害福祉事業所の報酬の日額払い制度を抜本的に改めること

障害のある人が通う事業所は、感染リスク軽減のため、一時休所や、密をさけるために通所人員を減らす必要が生じます。しかし、日額払いの報酬支払制度では、感染リスク軽減策をとることが、事業所の存続を危うくすることにつながります。現在の在宅支援の柔軟な取り扱いは、各自治体の判断によって運用がまちまちです。

障害のある人が事業所を安心して利用できるようにするため、上記のような臨時的な対策ではなく、事業運営にあたる費用は月額払い、利用者の個別給付に必要な費用は日額払いとし、基本報酬で安定経営ができる報酬体系に抜本的に改めてください。

以上

2021年1月15日

静岡県知事
川勝 平太 様

一般社団法人全国知的障害者施設家族会連合会
理事長 由 岐 透
兵庫県神戸市中央区橋通3-4-1
神戸市立総合福祉センター2F
TEL 078-371-3930

緊急要望

昨年1月6日、厚生労働省が「中国の武漢市で原因不明の肺炎の発生が複数報告されている」と発表したことが新型コロナウイルス感染についての日本での第一報でありました。あれから1年が経過し、新型コロナウイルスは世界中に蔓延しました。日本では感染拡大の勢いが増すばかりで、さまざまな領域で生活困難を抱える人びとを苦しめており、全国知的障害者施設家族会連合会は、今般下記の4項目について緊急に要望します。

1. 医療崩壊の中で「いのちの選別」をおこなわないこと

感染者急増の中で、命を賭した献身的な医療現場の深刻な状況が報道されています。こうした状況下では、医療崩壊を理由に治療の優先順位をつける「いのちの選別」が進められないかと危惧します。医療機関や保健所等が「いのちの選別」を行わないよう徹底して下さい。医療・保健分野へ必要な予算、人的体制を早急かつ抜本的に強化して下さい。

2. 感染者が発生した場合の対策と支援を実施すること

障害者支援施設やグループホームで、障害のある人が感染した場合に、障害を理由に入院拒否をしないこと、そして、入院した際には障害特性に合わせた支援や合理的配慮が講じられるような体制が整えられるように医療機関への支援策を講じてください。

なお、施設内でのゾーニングは、感染をさらに拡大させる危険性があるので望ましくありません。知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難であるため、重症化の徴候を見過ごさないために、感染した場合は原則的に入院対応をお願いします。

また、施設内でクラスターが発生した場合は、市町村や都道府県の職員も含めた最大限の応援体制を整えてください。

3. 障害のある人や支援者へ PCR 検査を早急を実施すること

障害のある人の多くは感染した場合に重症化リスクが高く、生活上、常に人による支援を必要としています。特に、知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難な人が多くいます。障害のある人や支援者が PCR 検査を必要に応じて何度でも受けられるよう財政措置を含め早急に対策してください。

4. 障害福祉事業所の報酬の日額払い制度を抜本的に改めること

障害のある人が通う事業所は、感染リスク軽減のため、一時休所や、密をさけるために通所人員を減らす必要が生じます。しかし、日額払いの報酬支払制度では、感染リスク軽減策をとることが、事業所の存続を危うくすることにつながります。現在の在宅支援の柔軟な取り扱いは、各自治体の判断によって運用がまちまちです。

障害のある人が事業所を安心して利用できるようにするため、上記のような臨時的な対策ではなく、事業運営にあたる費用は月額払い、利用者の個別給付に必要な費用は日額払いとし、基本報酬で安定経営ができる報酬体系に抜本的に改めてください。

以上

2021年1月15日

愛知県知事
大村 秀章 様

一般社団法人全国知的障害者施設家族会連合会
理事長 由岐 透
兵庫県神戸市中央区橋通3-4-1
神戸市立総合福祉センター2F
TEL 078-371-3930

緊急要望

昨年1月6日、厚生労働省が「中国の武漢市で原因不明の肺炎の発生が複数報告されている」と発表したことが新型コロナウイルス感染についての日本での第一報でありました。あれから1年が経過し、新型コロナウイルスは世界中に蔓延しました。日本では感染拡大の勢いが増すばかりで、さまざまな領域で生活困難を抱える人びとを苦しめており、全国知的障害者施設家族会連合会は、今般下記の4項目について緊急に要望します。

1. 医療崩壊の中で「いのちの選別」をおこなわないこと

感染者急増の中で、命を賭した献身的な医療現場の深刻な状況が報道されています。こうした状況下では、医療崩壊を理由に治療の優先順位をつける「いのちの選別」が進められないかと危惧します。医療機関や保健所等が「いのちの選別」を行わないよう徹底して下さい。医療・保健分野へ必要な予算、人的体制を早急かつ抜本的に強化して下さい。

2. 感染者が発生した場合の対策と支援を実施すること

障害者支援施設やグループホームで、障害のある人が感染した場合に、障害を理由に入院拒否をしないこと、そして、入院した際には 障害特性に合わせた支援や合理的配慮が講じられるような体制が整えられるように医療機関への支援策を講じてください。

なお、施設内でのゾーニングは、感染をさらに拡大させる危険性があるので望ましくありません。知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難であるため、重症化の徴候を見逃さないために、感染した場合は原則的に入院対応をお願いします。

また、施設内でクラスターが発生した場合は、市町村や都道府県の職員も含めた最大限の応援体制を整えてください。

3. 障害のある人や支援者へ PCR 検査を早急を実施すること

障害のある人の多くは感染した場合に重症化リスクが高く、生活上、常に人による支援を必要としています。特に、知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難な人が多くいます。障害のある人や支援者が PCR 検査を必要に応じて何度でも受けられるよう財政措置を含め早急に対策してください。

4. 障害福祉事業所の報酬の日額払い制度を抜本的に改めること

障害のある人が通う事業所は、感染リスク軽減のため、一時休所や、密をさけるために通所人員を減らす必要が生じます。しかし、日額払いの報酬支払制度では、感染リスク軽減策をとることが、事業所の存続を危うくすることにつながります。現在の在宅支援の柔軟な取り扱いは、各自治体の判断によって運用がまちまちです。

障害のある人が事業所を安心して利用できるようにするため、上記のような臨時的な対策ではなく、事業運営にあたる費用は月額払い、利用者の個別給付に必要な費用は日額払いとし、基本報酬で安定経営ができる報酬体系に抜本的に改めてください。

以上

2021年1月15日

三重県知事
鈴木 英敬 様

一般社団法人全国知的障害者施設家族会連合会
理事長 由 岐 透
兵庫県神戸市中央区橘通3-4-1
神戸市立総合福祉センター2F
TEL 078-371-3930

緊急要望

昨年1月6日、厚生労働省が「中国の武漢市で原因不明の肺炎の発生が複数報告されている」と発表したことが新型コロナウイルス感染についての日本での第一報でありました。あれから1年が経過し、新型コロナウイルスは世界中に蔓延しました。日本では感染拡大の勢いが増すばかりで、さまざまな領域で生活困難を抱える人びとを苦しめており、全国知的障害者施設家族会連合会は、今般下記の4項目について緊急に要望します。

1. 医療崩壊の中で「いのちの選別」をおこなわないこと

感染者急増の中で、命を賭した献身的な医療現場の深刻な状況が報道されています。こうした状況下では、医療崩壊を理由に治療の優先順位をつける「いのちの選別」が進められないかと危惧します。医療機関や保健所等が「いのちの選別」を行わないよう徹底して下さい。医療・保健分野へ必要な予算、人的体制を早急かつ抜本的に強化して下さい。

2. 感染者が発生した場合の対策と支援を実施すること

障害者支援施設やグループホームで、障害のある人が感染した場合に、障害を理由に入院拒否をしないこと、そして、入院した際には障害特性に合わせた支援や合理的配慮が講じられるような体制が整えられるように医療機関への支援策を講じてください。

なお、施設内でのゾーニングは、感染をさらに拡大させる危険性があるので望ましくありません。知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難であるため、重症化の徴候を見過ごさないために、感染した場合は原則的に入院対応をお願いします。

また、施設内でクラスターが発生した場合は、市町村や都道府県の職員も含めた最大限の応援体制を整えてください。

3. 障害のある人や支援者へ PCR 検査を早急に実施すること

障害のある人の多くは感染した場合に重症化リスクが高く、生活上、常に人による支援を必要としています。特に、知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難な人が多くいます。障害のある人や支援者が PCR 検査を必要に応じて何度でも受けられるよう財政措置を含め早急に対策してください。

4. 障害福祉事業所の報酬の日額払い制度を抜本的に改めること

障害のある人が通う事業所は、感染リスク軽減のため、一時休所や、密をさけるために通所人員を減らす必要が生じます。しかし、日額払いの報酬支払制度では、感染リスク軽減策をとることが、事業所の存続を危うくすることにつながります。現在の在宅支援の柔軟な取り扱いは、各自治体の判断によって運用がまちまちです。

障害のある人が事業所を安心して利用できるようにするため、上記のような臨時的な対策ではなく、事業運営にあたる費用は月額払い、利用者の個別給付に必要な費用は日額払いとし、基本報酬で安定経営ができる報酬体系に抜本的に改めてください。

以上

2021年1月15日

滋賀県知事
三日月 大造 様

一般社団法人全国知的障害者施設家族会連合会
理事長 由岐 透
兵庫県神戸市中央区橋通3-4-1
神戸市立総合福祉センター2F
TEL 078-371-3930

緊急要望

昨年1月6日、厚生労働省が「中国の武漢市で原因不明の肺炎の発生が複数報告されている」と発表したことが新型コロナウイルス感染についての日本での第一報でありました。あれから1年が経過し、新型コロナウイルスは世界中に蔓延しました。日本では感染拡大の勢いが増すばかりで、さまざまな領域で生活困難を抱える人びとを苦しめており、全国知的障害者施設家族会連合会は、今般下記の4項目について緊急に要望します。

1. 医療崩壊の中で「いのちの選別」をおこなわないこと

感染者急増の中で、命を賭した献身的な医療現場の深刻な状況が報道されています。こうした状況下では、医療崩壊を理由に治療の優先順位をつける「いのちの選別」が進められないかと危惧します。医療機関や保健所等が「いのちの選別」を行わないよう徹底して下さい。医療・保健分野へ必要な予算、人的体制を早急かつ抜本的に強化して下さい。

2. 感染者が発生した場合の対策と支援を実施すること

障害者支援施設やグループホームで、障害のある人が感染した場合に、障害を理由に入院拒否をしないこと、そして、入院した際には障害特性に合わせた支援や合理的配慮が講じられるような体制が整えられるように医療機関への支援策を講じてください。

なお、施設内でのゾーニングは、感染をさらに拡大させる危険性があるので望ましくありません。知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難であるため、重症化の徴候を見逃さないために、感染した場合は原則的に入院対応をお願いします。

また、施設内でクラスターが発生した場合は、市町村や都道府県の職員も含めた最大限の応援体制を整えてください。

3. 障害のある人や支援者へ PCR 検査を早急に実施すること

障害のある人の多くは感染した場合に重症化リスクが高く、生活上、常に人による支援を必要としています。特に、知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難な人が多くいます。障害のある人や支援者が PCR 検査を必要に応じて何度でも受けられるよう財政措置を含め早急に対策してください。

4. 障害福祉事業所の報酬の日額払い制度を抜本的に改めること

障害のある人が通う事業所は、感染リスク軽減のため、一時休所や、密をさけるために通所人員を減らす必要が生じます。しかし、日額払いの報酬支払制度では、感染リスク軽減策をとることが、事業所の存続を危うくすることにつながります。現在の在宅支援の柔軟な取り扱いは、各自治体の判断によって運用がまちまちです。

障害のある人が事業所を安心して利用できるようにするため、上記のような臨時的な対策ではなく、事業運営にあたる費用は月額払い、利用者の個別給付に必要な費用は日額払いとし、基本報酬で安定経営ができる報酬体系に抜本的に改めてください。

以上

2021年1月15日

京都府知事
西脇 隆俊 様

一般社団法人全国知的障害者施設家族会連合会
理事長 由 岐 寧 透
兵庫県神戸市中央区橘通3-4-1
神戸市立総合福祉センター2F
TEL 078-371-3930

緊急要望

昨年1月6日、厚生労働省が「中国の武漢市で原因不明の肺炎の発生が複数報告されている」と発表したことが新型コロナウイルス感染についての日本での第一報でありました。あれから1年が経過し、新型コロナウイルスは世界中に蔓延しました。日本では感染拡大の勢いが増すばかりで、さまざまな領域で生活困難を抱える人びとを苦しめており、全国知的障害者施設家族会連合会は、今般下記の4項目について緊急に要望します。

1. 医療崩壊の中で「いのちの選別」をおこなわないこと

感染者急増の中で、命を賭した献身的な医療現場の深刻な状況が報道されています。こうした状況下では、医療崩壊を理由に治療の優先順位をつける「いのちの選別」が進められないかと危惧します。医療機関や保健所等が「いのちの選別」を行わないよう徹底して下さい。医療・保健分野へ必要な予算、人的体制を早急かつ抜本的に強化して下さい。

2. 感染者が発生した場合の対策と支援を実施すること

障害者支援施設やグループホームで、障害のある人が感染した場合に、障害を理由に入院拒否をしないこと、そして、入院した際には 障害特性に合わせた支援や合理的配慮が講じられるような体制が整えられるように医療機関への支援策を講じてください。

なお、施設内でのゾーニングは、感染をさらに拡大させる危険性があるので望ましくありません。知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難であるため、重症化の徴候を見逃ごさないために、感染した場合は原則的に入院対応をお願いします。

また、施設内でクラスターが発生した場合は、市町村や都道府県の職員も含めた最大限の応援体制を整えてください。

3. 障害のある人や支援者へ PCR 検査を早急に実施すること

障害のある人の多くは感染した場合に重症化リスクが高く、生活上、常に人による支援を必要としています。特に、知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難な人が多くいます。障害のある人や支援者が PCR 検査を必要に応じて何度でも受けられるよう財政措置を含め早急に対策してください。

4. 障害福祉事業所の報酬の日額払い制度を抜本的に改めること

障害のある人が通う事業所は、感染リスク軽減のため、一時休所や、密をさけるために通所人員を減らす必要が生じます。しかし、日額払いの報酬支払制度では、感染リスク軽減策をとることが、事業所の存続を危うくすることにつながります。現在の在宅支援の柔軟な取り扱い、各自治体の判断によって運用がまちまちです。

障害のある人が事業所を安心して利用できるようにするため、上記のような臨時的な対策ではなく、事業運営にあたる費用は月額払い、利用者の個別給付に必要な費用は日額払いとし、基本報酬で安定経営ができる報酬体系に抜本的に改めてください。

以上

2021年1月15日

大阪府知事
吉村 洋文 様

一般社団法人全国知的障害者施設家族会連合会
理事長 由 岐 空 透
兵庫県神戸市中央区橘通3-4-1
神戸市立総合福祉センター2F
TEL 078-371-3930

緊急要望

昨年1月6日、厚生労働省が「中国の武漢市で原因不明の肺炎の発生が複数報告されている」と発表したことが新型コロナウイルス感染についての日本での第一報でありました。あれから1年が経過し、新型コロナウイルスは世界中に蔓延しました。日本では感染拡大の勢いが増すばかりで、さまざまな領域で生活困難を抱える人びとを苦しめており、全国知的障害者施設家族会連合会は、今般下記の4項目について緊急に要望します。

1. 医療崩壊の中で「いのちの選別」をおこなわないこと

感染者急増の中で、命を賭した献身的な医療現場の深刻な状況が報道されています。こうした状況下では、医療崩壊を理由に治療の優先順位をつける「いのちの選別」が進められないかと危惧します。医療機関や保健所等が「いのちの選別」を行わないよう徹底して下さい。医療・保健分野へ必要な予算、人的体制を早急かつ抜本的に強化して下さい。

2. 感染者が発生した場合の対策と支援を実施すること

障害者支援施設やグループホームで、障害のある人が感染した場合に、障害を理由に入院拒否をしないこと、そして、入院した際には 障害特性に合わせた支援や合理的配慮が講じられるような体制が整えられるように医療機関への支援策を講じてください。

なお、施設内でのゾーニングは、感染をさらに拡大させる危険性があるので望ましくありません。知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難であるため、重症化の徴候を見逃さないために、感染した場合は原則的に入院対応をお願いします。

また、施設内でクラスターが発生した場合は、市町村や都道府県の職員も含めた最大限の応援体制を整えてください。

3. 障害のある人や支援者へ PCR 検査を早急に実施すること

障害のある人の多くは感染した場合に重症化リスクが高く、生活上、常に人による支援を必要としています。特に、知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難な人が多くいます。障害のある人や支援者が PCR 検査を必要に応じて何度でも受けられるよう財政措置を含め早急に対策してください。

4. 障害福祉事業所の報酬の日額払い制度を抜本的に改めること

障害のある人が通う事業所は、感染リスク軽減のため、一時休所や、密をさけるために通所人員を減らす必要が生じます。しかし、日額払いの報酬支払制度では、感染リスク軽減策をとることが、事業所の存続を危うくすることにつながります。現在の在宅支援の柔軟な取り扱いは、各自治体の判断によって運用がまちまちです。

障害のある人が事業所を安心して利用できるようにするため、上記のような臨時的な対策ではなく、事業運営にあたる費用は月額払い、利用者の個別給付に必要な費用は日額払いとし、基本報酬で安定経営ができる報酬体系に抜本的に改めてください。

以上

2021年1月15日

香川県知事
浜田 恵造 様

一般社団法人全国知的障害者施設家族会連合会
理事長 由 岐 透
兵庫県神戸市中央区橘通3-4-1
神戸市立総合福祉センター2F
TEL 078-371-3930

緊急要望

昨年1月6日、厚生労働省が「中国の武漢市で原因不明の肺炎の発生が複数報告されている」と発表したことが新型コロナウイルス感染についての日本での第一報でありました。あれから1年が経過し、新型コロナウイルスは世界中に蔓延しました。日本では感染拡大の勢いが増すばかりで、さまざまな領域で生活困難を抱える人びとを苦しめており、全国知的障害者施設家族会連合会は、今般下記の4項目について緊急に要望します。

1. 医療崩壊の中で「いのちの選別」をおこなわないこと

感染者急増の中で、命を賭した献身的な医療現場の深刻な状況が報道されています。こうした状況下では、医療崩壊を理由に治療の優先順位をつける「いのちの選別」が進められないかと危惧します。医療機関や保健所等が「いのちの選別」を行わないよう徹底して下さい。医療・保健分野へ必要な予算、人的体制を早急かつ抜本的に強化して下さい。

2. 感染者が発生した場合の対策と支援を実施すること

障害者支援施設やグループホームで、障害のある人が感染した場合に、障害を理由に入院拒否をしないこと、そして、入院した際には 障害特性に合わせた支援や合理的配慮が講じられるような体制が整えられるように医療機関への支援策を講じてください。

なお、施設内でのゾーニングは、感染をさらに拡大させる危険性があるので望ましくありません。知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難であるため、重症化の徴候を見過ごさないために、感染した場合は原則的に入院対応をお願いします。

また、施設内でクラスターが発生した場合は、市町村や都道府県の職員も含めた最大限の応援体制を整えてください。

3. 障害のある人や支援者へ PCR 検査を早急を実施すること

障害のある人の多くは感染した場合に重症化リスクが高く、生活上、常に人による支援を必要としています。特に、知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難な人が多くいます。障害のある人や支援者が PCR 検査を必要に応じて何度でも受けられるよう財政措置を含め早急に対策してください。

4. 障害福祉事業所の報酬の日額払い制度を抜本的に改めること

障害のある人が通う事業所は、感染リスク軽減のため、一時休所や、密をさけるために通所人員を減らす必要が生じます。しかし、日額払いの報酬支払制度では、感染リスク軽減策をとることが、事業所の存続を危うくすることにつながります。現在の在宅支援の柔軟な取り扱いは、各自治体の判断によって運用がまちまちです。

障害のある人が事業所を安心して利用できるようにするため、上記のような臨時的な対策ではなく、事業運営にあたる費用は月額払い、利用者の個別給付に必要な費用は日額払いとし、基本報酬で安定経営ができる報酬体系に抜本的に改めてください。

以上

2021年1月15日

愛媛県知事
中村 時広 様

一般社団法人全国知的障害者施設家族会連合会
理事長 由 岐 透
兵庫県神戸市中央区橋通3-4-1
神戸市立総合福祉センター2F
TEL 078-371-3930

緊急要望

昨年1月6日、厚生労働省が「中国の武漢市で原因不明の肺炎の発生が複数報告されている」と発表したことが新型コロナウイルス感染についての日本での第一報でありました。あれから1年が経過し、新型コロナウイルスは世界中に蔓延しました。日本では感染拡大の勢いが増すばかりで、さまざまな領域で生活困難を抱える人びとを苦しめており、全国知的障害者施設家族会連合会は、今般下記の4項目について緊急に要望します。

1. 医療崩壊の中で「いのちの選別」をおこなわないこと

感染者急増の中で、命を賭した献身的な医療現場の深刻な状況が報道されています。こうした状況下では、医療崩壊を理由に治療の優先順位をつける「いのちの選別」が進められないかと危惧します。医療機関や保健所等が「いのちの選別」を行わないよう徹底して下さい。医療・保健分野へ必要な予算、人的体制を早急かつ抜本的に強化して下さい。

2. 感染者が発生した場合の対策と支援を実施すること

障害者支援施設やグループホームで、障害のある人が感染した場合に、障害を理由に入院拒否をしないこと、そして、入院した際には 障害特性に合わせた支援や合理的配慮が講じられるような体制が整えられるように医療機関への支援策を講じてください。

なお、施設内でのゾーニングは、感染をさらに拡大させる危険性があるので望ましくありません。知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難であるため、重症化の徴候を見過ごさないために、感染した場合は原則的に入院対応をお願いします。

また、施設内でクラスターが発生した場合は、市町村や都道府県の職員も含めた最大限の応援体制を整えてください。

3. 障害のある人や支援者へ PCR 検査を早急を実施すること

障害のある人の多くは感染した場合に重症化リスクが高く、生活上、常に人による支援を必要としています。特に、知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難な人が多くいます。障害のある人や支援者が PCR 検査を必要に応じて何度でも受けられるよう財政措置を含め早急に対策してください。

4. 障害福祉事業所の報酬の日額払い制度を抜本的に改めること

障害のある人が通う事業所は、感染リスク軽減のため、一時休所や、密をさけるために通所人員を減らす必要が生じます。しかし、日額払いの報酬支払制度では、感染リスク軽減策をとることが、事業所の存続を危うくすることにつながります。現在の在宅支援の柔軟な取り扱いは、各自治体の判断によって運用がまちまちです。

障害のある人が事業所を安心して利用できるようにするため、上記のような臨時的な対策ではなく、事業運営にあたる費用は月額払い、利用者の個別給付に必要な費用は日額払いとし、基本報酬で安定経営ができる報酬体系に抜本的に改めてください。

以上

2021年1月15日

高知県知事
濱田 省司 様

一般社団法人全国知的障害者施設家族会連合会
理事長 由 岐 透
兵庫県神戸市中央区橋通3-4-1
神戸市立総合福祉センター2F
TEL 078-371-3930

緊急要望

昨年1月6日、厚生労働省が「中国の武漢市で原因不明の肺炎の発生が複数報告されている」と発表したことが新型コロナウイルス感染についての日本での第一報でありました。あれから1年が経過し、新型コロナウイルスは世界中に蔓延しました。日本では感染拡大の勢いが増すばかりで、さまざまな領域で生活困難を抱える人びとを苦しめており、全国知的障害者施設家族会連合会は、今般下記の4項目について緊急に要望します。

1. 医療崩壊の中で「いのちの選別」をおこなわないこと

感染者急増の中で、命を賭した献身的な医療現場の深刻な状況が報道されています。こうした状況下では、医療崩壊を理由に治療の優先順位をつける「いのちの選別」が進められないかと危惧します。医療機関や保健所等が「いのちの選別」を行わないよう徹底して下さい。医療・保健分野へ必要な予算、人的体制を早急かつ抜本的に強化して下さい。

2. 感染者が発生した場合の対策と支援を実施すること

障害者支援施設やグループホームで、障害のある人が感染した場合に、障害を理由に入院拒否をしないこと、そして、入院した際には 障害特性に合わせた支援や合理的配慮が講じられるような体制が整えられるように医療機関への支援策を講じてください。

なお、施設内でのゾーニングは、感染をさらに拡大させる危険性があるので望ましくありません。知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難であるため、重症化の徴候を見過ごさないために、感染した場合は原則的に入院対応をお願いします。

また、施設内でクラスターが発生した場合は、市町村や都道府県の職員も含めた最大限の応援体制を整えてください。

3. 障害のある人や支援者へ PCR 検査を早急に実施すること

障害のある人の多くは感染した場合に重症化リスクが高く、生活上、常に人による支援を必要としています。特に、知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難な人が多くいます。障害のある人や支援者が PCR 検査を必要に応じて何度でも受けられるよう財政措置を含め早急に対策してください。

4. 障害福祉事業所の報酬の日額払い制度を抜本的に改めること

障害のある人が通う事業所は、感染リスク軽減のため、一時休所や、密をさけるために通所人員を減らす必要が生じます。しかし、日額払いの報酬支払制度では、感染リスク軽減策をとることが、事業所の存続を危うくすることにつながります。現在の在宅支援の柔軟な取り扱いは、各自治体の判断によって運用がまちまちです。

障害のある人が事業所を安心して利用できるようにするため、上記のような臨時的な対策ではなく、事業運営にあたる費用は月額払い、利用者の個別給付に必要な費用は日額払いとし、基本報酬で安定経営ができる報酬体系に抜本的に改めてください。

以上

2021年1月15日

福岡県知事
小川 洋 様

一般社団法人全国知的障害者施設家族会連合会
理事長 由岐 透
兵庫県神戸市中央区橋通3-4-1
神戸市立総合福祉センター2F
TEL 078-371-3930

緊急要望

昨年1月6日、厚生労働省が「中国の武漢市で原因不明の肺炎の発生が複数報告されている」と発表したことが新型コロナウイルス感染についての日本での第一報でありました。あれから1年が経過し、新型コロナウイルスは世界中に蔓延しました。日本では感染拡大の勢いが増すばかりで、さまざまな領域で生活困難を抱える人びとを苦しめており、全国知的障害者施設家族会連合会は、今般下記の4項目について緊急に要望します。

1. 医療崩壊の中で「いのちの選別」をおこなわないこと

感染者急増の中で、命を賭した献身的な医療現場の深刻な状況が報道されています。こうした状況下では、医療崩壊を理由に治療の優先順位をつける「いのちの選別」が進められないかと危惧します。医療機関や保健所等が「いのちの選別」を行わないよう徹底して下さい。医療・保健分野へ必要な予算、人的体制を早急かつ抜本的に強化して下さい。

2. 感染者が発生した場合の対策と支援を実施すること

障害者支援施設やグループホームで、障害のある人が感染した場合に、障害を理由に入院拒否をしないこと、そして、入院した際には障害特性に合わせた支援や合理的配慮が講じられるような体制が整えられるように医療機関への支援策を講じてください。

なお、施設内でのゾーニングは、感染をさらに拡大させる危険性があるので望ましくありません。知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難であるため、重症化の徴候を見過ごさないために、感染した場合は原則的に入院対応をお願いします。

また、施設内でクラスターが発生した場合は、市町村や都道府県の職員も含めた最大限の応援体制を整えてください。

3. 障害のある人や支援者へ PCR 検査を早急に実施すること

障害のある人の多くは感染した場合に重症化リスクが高く、生活上、常に人による支援を必要としています。特に、知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難な人が多くいます。障害のある人や支援者が PCR 検査を必要に応じて何度でも受けられるよう財政措置を含め早急に対策してください。

4. 障害福祉事業所の報酬の日額払い制度を抜本的に改めること

障害のある人が通う事業所は、感染リスク軽減のため、一時休所や、密をさけるために通所人員を減らす必要が生じます。しかし、日額払いの報酬支払制度では、感染リスク軽減策をとることが、事業所の存続を危うくすることにつながります。現在の在宅支援の柔軟な取り扱いは、各自治体の判断によって運用がまちまちです。

障害のある人が事業所を安心して利用できるようにするため、上記のような臨時的な対策ではなく、事業運営にあたる費用は月額払い、利用者の個別給付に必要な費用は日額払いとし、基本報酬で安定経営ができる報酬体系に抜本的に改めてください。

以上

2021年1月15日

佐賀県知事
山口 祥義 様

一般社団法人全国知的障害者施設家族会連合会
理事長 由 岐 透
兵庫県神戸市中央区橋通 3-4-1
神戸市立総合福祉センター 2F
TEL 078-371-3930

緊急要望

昨年1月6日、厚生労働省が「中国の武漢市で原因不明の肺炎の発生が複数報告されている」と発表したことが新型コロナウイルス感染についての日本での第一報でありました。あれから1年が経過し、新型コロナウイルスは世界中に蔓延しました。日本では感染拡大の勢いが増すばかりで、さまざまな領域で生活困難を抱える人びとを苦しめており、全国知的障害者施設家族会連合会は、今般下記の4項目について緊急に要望します。

1. 医療崩壊の中で「いのちの選別」をおこなわないこと

感染者急増の中で、命を賭した献身的な医療現場の深刻な状況が報道されています。こうした状況下では、医療崩壊を理由に治療の優先順位をつける「いのちの選別」が進められないかと危惧します。医療機関や保健所等が「いのちの選別」を行わないよう徹底して下さい。医療・保健分野へ必要な予算、人的体制を早急かつ抜本的に強化して下さい。

2. 感染者が発生した場合の対策と支援を実施すること

障害者支援施設やグループホームで、障害のある人が感染した場合に、障害を理由に入院拒否をしないこと、そして、入院した際には 障害特性に合わせた支援や合理的配慮が講じられるような体制が整えられるように医療機関への支援策を講じてください。

なお、施設内でのゾーニングは、感染をさらに拡大させる危険性があるので望ましくありません。知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難であるため、重症化の徴候を見過ごさないために、感染した場合は原則的に入院対応をお願いします。

また、施設内でクラスターが発生した場合は、市町村や都道府県の職員も含めた最大限の応援体制を整えてください。

3. 障害のある人や支援者へ PCR 検査を早急に実施すること

障害のある人の多くは感染した場合に重症化リスクが高く、生活上、常に人による支援を必要としています。特に、知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難な人が多くいます。障害のある人や支援者が PCR 検査を必要に応じて何度でも受けられるよう財政措置を含め早急に対策してください。

4. 障害福祉事業所の報酬の日額払い制度を抜本的に改めること

障害のある人が通う事業所は、感染リスク軽減のため、一時休所や、密をさけるために通所人員を減らす必要が生じます。しかし、日額払いの報酬支払制度では、感染リスク軽減策をとることが、事業所の存続を危うくすることにつながります。現在の在宅支援の柔軟な取り扱い、各自治体の判断によって運用がまちまちです。

障害のある人が事業所を安心して利用できるようにするため、上記のような臨時的な対策ではなく、事業運営にあたる費用は月額払い、利用者の個別給付に必要な費用は日額払いとし、基本報酬で安定経営ができる報酬体系に抜本的に改めてください。

以上

2021年1月15日

長崎県知事
中村 法道 様

一般社団法人全国知的障害者施設家族会連合会
理事長 由岐 透
兵庫県神戸市中央区橋通3-4-1
神戸市立総合福祉センター2F
TEL 078-371-3930

緊急要望

昨年1月6日、厚生労働省が「中国の武漢市で原因不明の肺炎の発生が複数報告されている」と発表したことが新型コロナウイルス感染についての日本での第一報でありました。あれから1年が経過し、新型コロナウイルスは世界中に蔓延しました。日本では感染拡大の勢いが増すばかりで、さまざまな領域で生活困難を抱える人びとを苦しめており、全国知的障害者施設家族会連合会は、今般下記の4項目について緊急に要望します。

1. 医療崩壊の中で「いのちの選別」をおこなわないこと

感染者急増の中で、命を賭した献身的な医療現場の深刻な状況が報道されています。こうした状況下では、医療崩壊を理由に治療の優先順位をつける「いのちの選別」が進められないかと危惧します。医療機関や保健所等が「いのちの選別」を行わないよう徹底して下さい。医療・保健分野へ必要な予算、人的体制を早急かつ抜本的に強化して下さい。

2. 感染者が発生した場合の対策と支援を実施すること

障害者支援施設やグループホームで、障害のある人が感染した場合に、障害を理由に入院拒否をしないこと、そして、入院した際には障害特性に合わせた支援や合理的配慮が講じられるような体制が整えられるように医療機関への支援策を講じてください。

なお、施設内でのゾーニングは、感染をさらに拡大させる危険性があるので望ましくありません。知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難であるため、重症化の徴候を見過ごさないために、感染した場合は原則的に入院対応をお願いします。

また、施設内でクラスターが発生した場合は、市町村や都道府県の職員も含めた最大限の応援体制を整えてください。

3. 障害のある人や支援者へ PCR 検査を早急を実施すること

障害のある人の多くは感染した場合に重症化リスクが高く、生活上、常に人による支援を必要としています。特に、知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難な人が多くいます。障害のある人や支援者が PCR 検査を必要に応じて何度でも受けられるよう財政措置を含め早急に対策してください。

4. 障害福祉事業所の報酬の日額払い制度を抜本的に改めること

障害のある人が通う事業所は、感染リスク軽減のため、一時休所や、密をさけるために通所人員を減らす必要が生じます。しかし、日額払いの報酬支払制度では、感染リスク軽減策をとることが、事業所の存続を危うくすることにつながります。現在の在宅支援の柔軟な取り扱いは、各自治体の判断によって運用がまちまちです。

障害のある人が事業所を安心して利用できるようにするため、上記のような臨時的な対策ではなく、事業運営にあたる費用は月額払い、利用者の個別給付に必要な費用は日額払いとし、基本報酬で安定経営ができる報酬体系に抜本的に改めてください。

以上

2021年1月15日

熊本県知事
蒲島 郁夫 様

一般社団法人全国知的障害者施設家族会連合会
理事長 由岐 透
兵庫県神戸市中央区橘通3-4-1
神戸市立総合福祉センター2F
TEL 078-371-3930

緊急要望

昨年1月6日、厚生労働省が「中国の武漢市で原因不明の肺炎の発生が複数報告されている」と発表したことが新型コロナウイルス感染についての日本での第一報でありました。あれから1年が経過し、新型コロナウイルスは世界中に蔓延しました。日本では感染拡大の勢いが増すばかりで、さまざまな領域で生活困難を抱える人びとを苦しめており、全国知的障害者施設家族会連合会は、今般下記の4項目について緊急に要望します。

1. 医療崩壊の中で「いのちの選別」をおこなわないこと

感染者急増の中で、命を賭した献身的な医療現場の深刻な状況が報道されています。こうした状況下では、医療崩壊を理由に治療の優先順位をつける「いのちの選別」が進められないかと危惧します。医療機関や保健所等が「いのちの選別」を行わないよう徹底して下さい。医療・保健分野へ必要な予算、人的体制を早急かつ抜本的に強化して下さい。

2. 感染者が発生した場合の対策と支援を実施すること

障害者支援施設やグループホームで、障害のある人が感染した場合に、障害を理由に入院拒否をしないこと、そして、入院した際には障害特性に合わせた支援や合理的配慮が講じられるような体制が整えられるように医療機関への支援策を講じてください。

なお、施設内でのゾーニングは、感染をさらに拡大させる危険性があるので望ましくありません。知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難であるため、重症化の徴候を見過ごさないために、感染した場合は原則的に入院対応をお願いします。

また、施設内でクラスターが発生した場合は、市町村や都道府県の職員も含めた最大限の応援体制を整えてください。

3. 障害のある人や支援者へ PCR 検査を早急を実施すること

障害のある人の多くは感染した場合に重症化リスクが高く、生活上、常に人による支援を必要としています。特に、知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難な人が多くいます。障害のある人や支援者が PCR 検査を必要に応じて何度でも受けられるよう財政措置を含め早急に対策してください。

4. 障害福祉事業所の報酬の日額払い制度を抜本的に改めること

障害のある人が通う事業所は、感染リスク軽減のため、一時休所や、密をさけるために通所人員を減らす必要が生じます。しかし、日額払いの報酬支払制度では、感染リスク軽減策をとることが、事業所の存続を危うくすることにつながります。現在の在宅支援の柔軟な取り扱いは、各自治体の判断によって運用がまちまちです。

障害のある人が事業所を安心して利用できるようにするため、上記のような臨時的な対策ではなく、事業運営にあたる費用は月額払い、利用者の個別給付に必要な費用は日額払いとし、基本報酬で安定経営ができる報酬体系に抜本的に改めてください。

以上

2021年1月15日

大分県知事
広瀬 勝貞 様

一般社団法人全国知的障害者施設家族会連合会
理事長 由岐 透
兵庫県神戸市中央区橋通3-4-1
神戸市立総合福祉センター2F
TEL 078-371-3930

緊急要望

昨年1月6日、厚生労働省が「中国の武漢市で原因不明の肺炎の発生が複数報告されている」と発表したことが新型コロナウイルス感染についての日本での第一報でありました。あれから1年が経過し、新型コロナウイルスは世界中に蔓延しました。日本では感染拡大の勢いが増すばかりで、さまざまな領域で生活困難を抱える人びとを苦しめており、全国知的障害者施設家族会連合会は、今般下記の4項目について緊急に要望します。

1. 医療崩壊の中で「いのちの選別」をおこなわないこと

感染者急増の中で、命を賭した献身的な医療現場の深刻な状況が報道されています。こうした状況下では、医療崩壊を理由に治療の優先順位をつける「いのちの選別」が進められないかと危惧します。医療機関や保健所等が「いのちの選別」を行わないよう徹底して下さい。医療・保健分野へ必要な予算、人的体制を早急かつ抜本的に強化して下さい。

2. 感染者が発生した場合の対策と支援を実施すること

障害者支援施設やグループホームで、障害のある人が感染した場合に、障害を理由に入院拒否をしないこと、そして、入院した際には障害特性に合わせた支援や合理的配慮が講じられるような体制が整えられるように医療機関への支援策を講じてください。

なお、施設内でのゾーニングは、感染をさらに拡大させる危険性があるので望ましくありません。知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難であるため、重症化の徴候を見逃さないために、感染した場合は原則的に入院対応をお願いします。

また、施設内でクラスターが発生した場合は、市町村や都道府県の職員も含めた最大限の応援体制を整えてください。

3. 障害のある人や支援者へ PCR 検査を早急に実施すること

障害のある人の多くは感染した場合に重症化リスクが高く、生活上、常に人による支援を必要としています。特に、知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難な人が多くいます。障害のある人や支援者が PCR 検査を必要に応じて何度でも受けられるよう財政措置を含め早急に対策してください。

4. 障害福祉事業所の報酬の日額払い制度を抜本的に改めること

障害のある人が通う事業所は、感染リスク軽減のため、一時休所や、密をさけるために通所人員を減らす必要が生じます。しかし、日額払いの報酬支払制度では、感染リスク軽減策をとることが、事業所の存続を危うくすることにつながります。現在の在宅支援の柔軟な取り扱いは、各自治体の判断によって運用がまちまちです。

障害のある人が事業所を安心して利用できるようにするため、上記のような臨時的な対策ではなく、事業運営にあたる費用は月額払い、利用者の個別給付に必要な費用は日額払いとし、基本報酬で安定経営ができる報酬体系に抜本的に改めてください。

以上

2021年1月15日

宮崎県知事
河野 俊嗣 様

一般社団法人全国知的障害者施設家族会連合会
理事長 由 岐 透
兵庫県神戸市中央区橋通3-4-1
神戸市立総合福祉センター2F
TEL 078-371-3930

緊急要望

昨年1月6日、厚生労働省が「中国の武漢市で原因不明の肺炎の発生が複数報告されている」と発表したことが新型コロナウイルス感染についての日本での第一報でありました。あれから1年が経過し、新型コロナウイルスは世界中に蔓延しました。日本では感染拡大の勢いが増すばかりで、さまざまな領域で生活困難を抱える人びとを苦しめており、全国知的障害者施設家族会連合会は、今般下記の4項目について緊急に要望します。

1. 医療崩壊の中で「いのちの選別」をおこなわないこと

感染者急増の中で、命を賭した献身的な医療現場の深刻な状況が報道されています。こうした状況下では、医療崩壊を理由に治療の優先順位をつける「いのちの選別」が進められないかと危惧します。医療機関や保健所等が「いのちの選別」を行わないよう徹底して下さい。医療・保健分野へ必要な予算、人的体制を早急かつ抜本的に強化して下さい。

2. 感染者が発生した場合の対策と支援を実施すること

障害者支援施設やグループホームで、障害のある人が感染した場合に、障害を理由に入院拒否をしないこと、そして、入院した際には 障害特性に合わせた支援や合理的配慮が講じられるような体制が整えられるように医療機関への支援策を講じてください。

なお、施設内でのゾーニングは、感染をさらに拡大させる危険性があるので望ましくありません。知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難であるため、重症化の徴候を見過ごさないために、感染した場合は原則的に入院対応をお願いします。

また、施設内でクラスターが発生した場合は、市町村や都道府県の職員も含めた最大限の応援体制を整えてください。

3. 障害のある人や支援者へ PCR 検査を早急を実施すること

障害のある人の多くは感染した場合に重症化リスクが高く、生活上、常に人による支援を必要としています。特に、知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難な人が多くいます。障害のある人や支援者が PCR 検査を必要に応じて何度でも受けられるよう財政措置を含め早急に対策してください。

4. 障害福祉事業所の報酬の日額払い制度を抜本的に改めること

障害のある人が通う事業所は、感染リスク軽減のため、一時休所や、密をさけるために通所人員を減らす必要が生じます。しかし、日額払いの報酬支払制度では、感染リスク軽減策をとることが、事業所の存続を危うくすることにつながります。現在の在宅支援の柔軟な取り扱いは、各自治体の判断によって運用がまちまちです。

障害のある人が事業所を安心して利用できるようにするため、上記のような臨時的な対策ではなく、事業運営にあたる費用は月額払い、利用者の個別給付に必要な費用は日額払いとし、基本報酬で安定経営ができる報酬体系に抜本的に改めてください。

以上

2021年1月15日

兵庫県知事
井戸 敏三 様

一般社団法人全国知的障害者施設家族会連合会
理事長 由岐 透
兵庫県神戸市中央区楠通3-4-1
神戸市立総合福祉センター2F
TEL 078-371-3930

緊急要望

昨年1月6日、厚生労働省が「中国の武漢市で原因不明の肺炎の発生が複数報告されている」と発表したことが新型コロナウイルス感染についての日本での第一報でありました。あれから1年が経過し、新型コロナウイルスは世界中に蔓延しました。日本では感染拡大の勢いが増すばかりで、さまざまな領域で生活困難を抱える人びとを苦しめており、全国知的障害者施設家族会連合会は、今般下記の4項目について緊急に要望します。

1. 医療崩壊の中で「いのちの選別」をおこなわないこと

感染者急増の中で、命を賭した献身的な医療現場の深刻な状況が報道されています。こうした状況下では、医療崩壊を理由に治療の優先順位をつける「いのちの選別」が進められないかと危惧します。医療機関や保健所等が「いのちの選別」を行わないよう徹底して下さい。医療・保健分野へ必要な予算、人的体制を早急かつ抜本的に強化して下さい。

2. 感染者が発生した場合の対策と支援を実施すること

障害者支援施設やグループホームで、障害のある人が感染した場合に、障害を理由に入院拒否をしないこと、そして、入院した際には障害特性に合わせた支援や合理的配慮が講じられるような体制が整えられるように医療機関への支援策を講じてください。

なお、施設内でのゾーニングは、感染をさらに拡大させる危険性があるので望ましくありません。知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難であるため、重症化の徴候を見逃さないために、感染した場合は原則的に入院対応をお願いします。

また、施設内でクラスターが発生した場合は、市町村や都道府県の職員も含めた最大限の応援体制を整えてください。

3. 障害のある人や支援者へ PCR 検査を早急に実施すること

障害のある人の多くは感染した場合に重症化リスクが高く、生活上、常に人による支援を必要としています。特に、知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難な人が多くいます。障害のある人や支援者が PCR 検査を必要に応じて何度でも受けられるよう財政措置を含め早急に対策してください。

4. 障害福祉事業所の報酬の日額払い制度を抜本的に改めること

障害のある人が通う事業所は、感染リスク軽減のため、一時休所や、密をさけるために通所人員を減らす必要が生じます。しかし、日額払いの報酬支払制度では、感染リスク軽減策をとることが、事業所の存続を危うくすることにつながります。現在の在宅支援の柔軟な取り扱いは、各自治体の判断によって運用がまちまちです。

障害のある人が事業所を安心して利用できるようにするため、上記のような臨時的な対策ではなく、事業運営にあたる費用は月額払い、利用者の個別給付に必要な費用は日額払いとし、基本報酬で安定経営ができる報酬体系に抜本的に改めてください。

以上

2021年1月15日

奈良県知事
荒井 正吾 様

一般社団法人全国知的障害者施設家族会連合会
理事長 由 岐 透
兵庫県神戸市中央区橋通3-4-1
神戸市立総合福祉センター2F
TEL 078-371-3930

緊急要望

昨年1月6日、厚生労働省が「中国の武漢市で原因不明の肺炎の発生が複数報告されている」と発表したことが新型コロナウイルス感染についての日本での第一報でありました。あれから1年が経過し、新型コロナウイルスは世界中に蔓延しました。日本では感染拡大の勢いが増すばかりで、さまざまな領域で生活困難を抱える人びとを苦しめており、全国知的障害者施設家族会連合会は、今般下記の4項目について緊急に要望します。

1. 医療崩壊の中で「いのちの選別」をおこなわないこと

感染者急増の中で、命を賭した献身的な医療現場の深刻な状況が報道されています。こうした状況下では、医療崩壊を理由に治療の優先順位をつける「いのちの選別」が進められないかと危惧します。医療機関や保健所等が「いのちの選別」を行わないよう徹底して下さい。医療・保健分野へ必要な予算、人的体制を早急かつ抜本的に強化して下さい。

2. 感染者が発生した場合の対策と支援を実施すること

障害者支援施設やグループホームで、障害のある人が感染した場合に、障害を理由に入院拒否をしないこと、そして、入院した際には 障害特性に合わせた支援や合理的配慮が講じられるような体制が整えられるように医療機関への支援策を講じてください。

なお、施設内でのゾーニングは、感染をさらに拡大させる危険性があるので望ましくありません。知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難であるため、重症化の徴候を見逃さないために、感染した場合は原則的に入院対応をお願いします。

また、施設内でクラスターが発生した場合は、市町村や都道府県の職員も含めた最大限の応援体制を整えてください。

3. 障害のある人や支援者へ PCR 検査を早急に実施すること

障害のある人の多くは感染した場合に重症化リスクが高く、生活上、常に人による支援を必要としています。特に、知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難な人が多くいます。障害のある人や支援者が PCR 検査を必要に応じて何度でも受けられるよう財政措置を含め早急に対策してください。

4. 障害福祉事業所の報酬の日額払い制度を抜本的に改めること

障害のある人が通う事業所は、感染リスク軽減のため、一時休所や、密をさけるために通所人員を減らす必要が生じます。しかし、日額払いの報酬支払制度では、感染リスク軽減策をとることが、事業所の存続を危うくすることにつながります。現在の在宅支援の柔軟な取り扱いは、各自治体の判断によって運用がまちまちです。

障害のある人が事業所を安心して利用できるようにするため、上記のような臨時的な対策ではなく、事業運営にあたる費用は月額払い、利用者の個別給付に必要な費用は日額払いとし、基本報酬で安定経営ができる報酬体系に抜本的に改めてください。

以上

2021年1月15日

和歌山県知事
仁坂 吉伸 様

一般社団法人全国知的障害者施設家族会連合会
理事長 由 岐 透
兵庫県神戸市中央区橋通3-4-1
神戸市立総合福祉センター2F
TEL 078-371-3930

緊急要望

昨年1月6日、厚生労働省が「中国の武漢市で原因不明の肺炎の発生が複数報告されている」と発表したことが新型コロナウイルス感染についての日本での第一報でありました。あれから1年が経過し、新型コロナウイルスは世界中に蔓延しました。日本では感染拡大の勢いが増すばかりで、さまざまな領域で生活困難を抱える人びとを苦しめており、全国知的障害者施設家族会連合会は、今般下記の4項目について緊急に要望します。

1. 医療崩壊の中で「いのちの選別」をおこなわないこと

感染者急増の中で、命を賭した献身的な医療現場の深刻な状況が報道されています。こうした状況下では、医療崩壊を理由に治療の優先順位をつける「いのちの選別」が進められないかと危惧します。医療機関や保健所等が「いのちの選別」を行わないよう徹底して下さい。医療・保健分野へ必要な予算、人的体制を早急かつ抜本的に強化して下さい。

2. 感染者が発生した場合の対策と支援を実施すること

障害者支援施設やグループホームで、障害のある人が感染した場合に、障害を理由に入院拒否をしないこと、そして、入院した際には 障害特性に合わせた支援や合理的配慮が講じられるような体制が整えられるように医療機関への支援策を講じてください。

なお、施設内でのゾーニングは、感染をさらに拡大させる危険性があるので望ましくありません。知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難であるため、重症化の徴候を見逃さないために、感染した場合は原則的に入院対応をお願いします。

また、施設内でクラスターが発生した場合は、市町村や都道府県の職員も含めた最大限の応援体制を整えてください。

3. 障害のある人や支援者へ PCR 検査を早急に実施すること

障害のある人の多くは感染した場合に重症化リスクが高く、生活上、常に人による支援を必要としています。特に、知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難な人が多くいます。障害のある人や支援者が PCR 検査を必要に応じて何度でも受けられるよう財政措置を含め早急に対策してください。

4. 障害福祉事業所の報酬の日額払い制度を抜本的に改めること

障害のある人が通う事業所は、感染リスク軽減のため、一時休所や、密をさけるために通所人員を減らす必要が生じます。しかし、日額払いの報酬支払制度では、感染リスク軽減策をとることが、事業所の存続を危うくすることにつながります。現在の在宅支援の柔軟な取り扱いは、各自治体の判断によって運用がまちまちです。

障害のある人が事業所を安心して利用できるようにするため、上記のような臨時的な対策ではなく、事業運営にあたる費用は月額払い、利用者の個別給付に必要な費用は日額払いとし、基本報酬で安定経営ができる報酬体系に抜本的に改めてください。

以上

2021年1月15日

鳥取県知事
平井 伸治 様

一般社団法人全国知的障害者施設家族会連合会
理事長 由 岐 透
兵庫県神戸市中央区橋通3-4-1
神戸市立総合福祉センター2F
TEL 078-371-3930

緊急要望

昨年1月6日、厚生労働省が「中国の武漢市で原因不明の肺炎の発生が複数報告されている」と発表したことが新型コロナウイルス感染についての日本での第一報でありました。あれから1年が経過し、新型コロナウイルスは世界中に蔓延しました。日本では感染拡大の勢いが増すばかりで、さまざまな領域で生活困難を抱える人びとを苦しめており、全国知的障害者施設家族会連合会は、今般下記の4項目について緊急に要望します。

1. 医療崩壊の中で「いのちの選別」をおこなわないこと

感染者急増の中で、命を賭した献身的な医療現場の深刻な状況が報道されています。こうした状況下では、医療崩壊を理由に治療の優先順位をつける「いのちの選別」が進められないかと危惧します。医療機関や保健所等が「いのちの選別」を行わないよう徹底して下さい。医療・保健分野へ必要な予算、人的体制を早急かつ抜本的に強化して下さい。

2. 感染者が発生した場合の対策と支援を実施すること

障害者支援施設やグループホームで、障害のある人が感染した場合に、障害を理由に入院拒否をしないこと、そして、入院した際には 障害特性に合わせた支援や合理的配慮が講じられるような体制が整えられるように医療機関への支援策を講じてください。

なお、施設内でのゾーニングは、感染をさらに拡大させる危険性があるので望ましくありません。知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難であるため、重症化の徴候を見過ごさないために、感染した場合は原則的に入院対応をお願いします。

また、施設内でクラスターが発生した場合は、市町村や都道府県の職員も含めた最大限の応援体制を整えてください。

3. 障害のある人や支援者へ PCR 検査を早急に実施すること

障害のある人の多くは感染した場合に重症化リスクが高く、生活上、常に人による支援を必要としています。特に、知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難な人が多くいます。障害のある人や支援者が PCR 検査を必要に応じて何度でも受けられるよう財政措置を含め早急に対策してください。

4. 障害福祉事業所の報酬の日額払い制度を抜本的に改めること

障害のある人が通う事業所は、感染リスク軽減のため、一時休所や、密をさけるために通所人員を減らす必要が生じます。しかし、日額払いの報酬支払制度では、感染リスク軽減策をとることが、事業所の存続を危うくすることにつながります。現在の在宅支援の柔軟な取り扱いは、各自治体の判断によって運用がまちまちです。

障害のある人が事業所を安心して利用できるようにするため、上記のような臨時的な対策ではなく、事業運営にあたる費用は月額払い、利用者の個別給付に必要な費用は日額払いとし、基本報酬で安定経営ができる報酬体系に抜本的に改めてください。

以上

2021年1月15日

島根県知事
丸山 達也 様

一般社団法人全国知的障害者施設家族会連合会
理事長 由 岐 透
兵庫県神戸市中央区橘通3-4-1
神戸市立総合福祉センター2F
TEL 078-371-3930

緊急要望

昨年1月6日、厚生労働省が「中国の武漢市で原因不明の肺炎の発生が複数報告されている」と発表したことが新型コロナウイルス感染についての日本での第一報でありました。あれから1年が経過し、新型コロナウイルスは世界中に蔓延しました。日本では感染拡大の勢いが増すばかりで、さまざまな領域で生活困難を抱える人びとを苦しめており、全国知的障害者施設家族会連合会は、今般下記の4項目について緊急に要望します。

1. 医療崩壊の中で「いのちの選別」をおこなわないこと

感染者急増の中で、命を賭した献身的な医療現場の深刻な状況が報道されています。こうした状況下では、医療崩壊を理由に治療の優先順位をつける「いのちの選別」が進められないかと危惧します。医療機関や保健所等が「いのちの選別」を行わないよう徹底して下さい。医療・保健分野へ必要な予算、人的体制を早急かつ抜本的に強化して下さい。

2. 感染者が発生した場合の対策と支援を実施すること

障害者支援施設やグループホームで、障害のある人が感染した場合に、障害を理由に入院拒否をしないこと、そして、入院した際には 障害特性に合わせた支援や合理的配慮が講じられるような体制が整えられるように医療機関への支援策を講じてください。

なお、施設内でのゾーニングは、感染をさらに拡大させる危険性があるので望ましくありません。知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難であるため、重症化の徴候を見過ごさないために、感染した場合は原則的に入院対応をお願いします。

また、施設内でクラスターが発生した場合は、市町村や都道府県の職員も含めた最大限の応援体制を整えてください。

3. 障害のある人や支援者へ PCR 検査を早急に実施すること

障害のある人の多くは感染した場合に重症化リスクが高く、生活上、常に人による支援を必要としています。特に、知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難な人が多くいます。障害のある人や支援者が PCR 検査を必要に応じて何度でも受けられるよう財政措置を含め早急に対策してください。

4. 障害福祉事業所の報酬の日額払い制度を抜本的に改めること

障害のある人が通う事業所は、感染リスク軽減のため、一時休所や、密をさけるために通所人員を減らす必要が生じます。しかし、日額払いの報酬支払制度では、感染リスク軽減策をとることが、事業所の存続を危うくすることにつながります。現在の在宅支援の柔軟な取り扱いは、各自治体の判断によって運用がまちまちです。

障害のある人が事業所を安心して利用できるようにするため、上記のような臨時的な対策ではなく、事業運営にあたる費用は月額払い、利用者の個別給付に必要な費用は日額払いとし、基本報酬で安定経営ができる報酬体系に抜本的に改めてください。

以上

2021年1月15日

岡山県知事
伊原木 隆太 様

一般社団法人全国知的障害者施設家族会連合会
理事長 由 岐 透
兵庫県神戸市中央区橋通3-4-1
神戸市立総合福祉センター2F
TEL 078-371-3930

緊急要望

昨年1月6日、厚生労働省が「中国の武漢市で原因不明の肺炎の発生が複数報告されている」と発表したことが新型コロナウイルス感染についての日本での第一報でありました。あれから1年が経過し、新型コロナウイルスは世界中に蔓延しました。日本では感染拡大の勢いが増すばかりで、さまざまな領域で生活困難を抱える人びとを苦しめており、全国知的障害者施設家族会連合会は、今般下記の4項目について緊急に要望します。

1. 医療崩壊の中で「いのちの選別」をおこなわないこと

感染者急増の中で、命を賭した献身的な医療現場の深刻な状況が報道されています。こうした状況下では、医療崩壊を理由に治療の優先順位をつける「いのちの選別」が進められないかと危惧します。医療機関や保健所等が「いのちの選別」を行わないよう徹底して下さい。医療・保健分野へ必要な予算、人的体制を早急かつ抜本的に強化して下さい。

2. 感染者が発生した場合の対策と支援を実施すること

障害者支援施設やグループホームで、障害のある人が感染した場合に、障害を理由に入院拒否をしないこと、そして、入院した際には 障害特性に合わせた支援や合理的配慮が講じられるような体制が整えられるように医療機関への支援策を講じてください。

なお、施設内でのゾーニングは、感染をさらに拡大させる危険性があるので望ましくありません。知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難であるため、重症化の徴候を見逃さないために、感染した場合は原則的に入院対応をお願いします。

また、施設内でクラスターが発生した場合は、市町村や都道府県の職員も含めた最大限の応援体制を整えてください。

3. 障害のある人や支援者へ PCR 検査を早急を実施すること

障害のある人の多くは感染した場合に重症化リスクが高く、生活上、常に人による支援を必要としています。特に、知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難な人が多くいます。障害のある人や支援者が PCR 検査を必要に応じて何度でも受けられるよう財政措置を含め早急に対策してください。

4. 障害福祉事業所の報酬の日額払い制度を抜本的に改めること

障害のある人が通う事業所は、感染リスク軽減のため、一時休所や、密をさけるために通所人員を減らす必要が生じます。しかし、日額払いの報酬支払制度では、感染リスク軽減策をとることが、事業所の存続を危うくすることにつながります。現在の在宅支援の柔軟な取り扱いは、各自治体の判断によって運用がまちまちです。

障害のある人が事業所を安心して利用できるようにするため、上記のような臨時的な対策ではなく、事業運営にあたる費用は月額払い、利用者の個別給付に必要な費用は日額払いとし、基本報酬で安定経営ができる報酬体系に抜本的に改めてください。

以上

2021年1月15日

広島県知事
湯崎 英彦 様

一般社団法人全国知的障害者施設家族会連合会
理事長 由岐 雲 透
兵庫県神戸市中央区橘通3-4-1
神戸市立総合福祉センター2F
TEL 078-371-3930

緊急要望

昨年1月6日、厚生労働省が「中国の武漢市で原因不明の肺炎の発生が複数報告されている」と発表したことが新型コロナウイルス感染についての日本での第一報でありました。あれから1年が経過し、新型コロナウイルスは世界中に蔓延しました。日本では感染拡大の勢いが増すばかりで、さまざまな領域で生活困難を抱える人びとを苦しめており、全国知的障害者施設家族会連合会は、今般下記の4項目について緊急に要望します。

1. 医療崩壊の中で「いのちの選別」をおこなわないこと

感染者急増の中で、命を賭した献身的な医療現場の深刻な状況が報道されています。こうした状況下では、医療崩壊を理由に治療の優先順位をつける「いのちの選別」が進められないかと危惧します。医療機関や保健所等が「いのちの選別」を行わないよう徹底して下さい。医療・保健分野へ必要な予算、人的体制を早急かつ抜本的に強化して下さい。

2. 感染者が発生した場合の対策と支援を実施すること

障害者支援施設やグループホームで、障害のある人が感染した場合に、障害を理由に入院拒否をしないこと、そして、入院した際には障害特性に合わせた支援や合理的配慮が講じられるような体制が整えられるように医療機関への支援策を講じてください。

なお、施設内でのゾーニングは、感染をさらに拡大させる危険性があるので望ましくありません。知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難であるため、重症化の徴候を見逃さないために、感染した場合は原則的に入院対応をお願いします。

また、施設内でクラスターが発生した場合は、市町村や都道府県の職員も含めた最大限の応援体制を整えてください。

3. 障害のある人や支援者へ PCR 検査を早急に実施すること

障害のある人の多くは感染した場合に重症化リスクが高く、生活上、常に人による支援を必要としています。特に、知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難な人が多くいます。障害のある人や支援者が PCR 検査を必要に応じて何度でも受けられるよう財政措置を含め早急に対策してください。

4. 障害福祉事業所の報酬の日額払い制度を抜本的に改めること

障害のある人が通う事業所は、感染リスク軽減のため、一時休所や、密をさけるために通所人員を減らす必要が生じます。しかし、日額払いの報酬支払制度では、感染リスク軽減策をとることが、事業所の存続を危うくすることにつながります。現在の在宅支援の柔軟な取り扱いは、各自治体の判断によって運用がまちまちです。

障害のある人が事業所を安心して利用できるようにするため、上記のような臨時的な対策ではなく、事業運営にあたる費用は月額払い、利用者の個別給付に必要な費用は日額払いとし、基本報酬で安定経営ができる報酬体系に抜本的に改めてください。

以上

2021年1月15日

山口県知事
村岡 嗣政 様

一般社団法人全国知的障害者施設家族会連合会

理事長 由 岐 透

兵庫県神戸市中央区橘通 3-4-1

神戸市立総合福祉センター 2F

TEL 078-371-3930

緊急要望

昨年1月6日、厚生労働省が「中国の武漢市で原因不明の肺炎の発生が複数報告されている」と発表したことが新型コロナウイルス感染についての日本での第一報でありました。あれから1年が経過し、新型コロナウイルスは世界中に蔓延しました。日本では感染拡大の勢いが増すばかりで、さまざまな領域で生活困難を抱える人びとを苦しめており、全国知的障害者施設家族会連合会は、今般下記の4項目について緊急に要望します。

1. 医療崩壊の中で「いのちの選別」をおこなわないこと

感染者急増の中で、命を賭した献身的な医療現場の深刻な状況が報道されています。こうした状況下では、医療崩壊を理由に治療の優先順位をつける「いのちの選別」が進められないかと危惧します。医療機関や保健所等が「いのちの選別」を行わないよう徹底して下さい。医療・保健分野へ必要な予算、人的体制を早急かつ抜本的に強化して下さい。

2. 感染者が発生した場合の対策と支援を実施すること

障害者支援施設やグループホームで、障害のある人が感染した場合に、障害を理由に入院拒否をしないこと、そして、入院した際には 障害特性に合わせた支援や合理的配慮が講じられるような体制が整えられるように医療機関への支援策を講じてください。

なお、施設内でのゾーニングは、感染をさらに拡大させる危険性があるので望ましくありません。知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難であるため、重症化の徴候を見逃さないために、感染した場合は原則的に入院対応をお願いします。

また、施設内でクラスターが発生した場合は、市町村や都道府県の職員も含めた最大限の応援体制を整えてください。

3. 障害のある人や支援者へ PCR 検査を早急に実施すること

障害のある人の多くは感染した場合に重症化リスクが高く、生活上、常に人による支援を必要としています。特に、知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難な人が多くいます。障害のある人や支援者が PCR 検査を必要に応じて何度でも受けられるよう財政措置を含め早急に対策してください。

4. 障害福祉事業所の報酬の日額払い制度を抜本的に改めること

障害のある人が通う事業所は、感染リスク軽減のため、一時休所や、密をさけるために通所人員を減らす必要が生じます。しかし、日額払いの報酬支払制度では、感染リスク軽減策をとることが、事業所の存続を危うくすることにつながります。現在の在宅支援の柔軟な取り扱いは、各自治体の判断によって運用がまちまちです。

障害のある人が事業所を安心して利用できるようにするため、上記のような臨時的な対策ではなく、事業運営にあたる費用は月額払い、利用者の個別給付に必要な費用は日額払いとし、基本報酬で安定経営ができる報酬体系に抜本的に改めてください。

以上

2021年1月15日

徳島県知事
飯泉 嘉門 様

一般社団法人全国知的障害者施設家族会連合会
理事長 由 岐 透
兵庫県神戸市中央区橘通3-4-1
神戸市立総合福祉センター2F
TEL 078-371-3930

緊急要望

昨年1月6日、厚生労働省が「中国の武漢市で原因不明の肺炎の発生が複数報告されている」と発表したことが新型コロナウイルス感染についての日本での第一報でありました。あれから1年が経過し、新型コロナウイルスは世界中に蔓延しました。日本では感染拡大の勢いが増すばかりで、さまざまな領域で生活困難を抱える人びとを苦しめており、全国知的障害者施設家族会連合会は、今般下記の4項目について緊急に要望します。

1. 医療崩壊の中で「いのちの選別」をおこなわないこと

感染者急増の中で、命を賭した献身的な医療現場の深刻な状況が報道されています。こうした状況下では、医療崩壊を理由に治療の優先順位をつける「いのちの選別」が進められないかと危惧します。医療機関や保健所等が「いのちの選別」を行わないよう徹底して下さい。医療・保健分野へ必要な予算、人的体制を早急かつ抜本的に強化して下さい。

2. 感染者が発生した場合の対策と支援を実施すること

障害者支援施設やグループホームで、障害のある人が感染した場合に、障害を理由に入院拒否をしないこと、そして、入院した際には 障害特性に合わせた支援や合理的配慮が講じられるような体制が整えられるように医療機関への支援策を講じてください。

なお、施設内でのゾーニングは、感染をさらに拡大させる危険性があるので望ましくありません。知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難であるため、重症化の徴候を見過ごさないために、感染した場合は原則的に入院対応をお願いします。

また、施設内でクラスターが発生した場合は、市町村や都道府県の職員も含めた最大限の応援体制を整えてください。

3. 障害のある人や支援者へ PCR 検査を早急に実施すること

障害のある人の多くは感染した場合に重症化リスクが高く、生活上、常に人による支援を必要としています。特に、知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難な人が多くいます。障害のある人や支援者が PCR 検査を必要に応じて何度でも受けられるよう財政措置を含め早急に対策してください。

4. 障害福祉事業所の報酬の日額払い制度を抜本的に改めること

障害のある人が通う事業所は、感染リスク軽減のため、一時休所や、密をさけるために通所人員を減らす必要が生じます。しかし、日額払いの報酬支払制度では、感染リスク軽減策をとることが、事業所の存続を危うくすることにつながります。現在の在宅支援の柔軟な取り扱いは、各自治体の判断によって運用がまちまちです。

障害のある人が事業所を安心して利用できるようにするため、上記のような臨時的な対策ではなく、事業運営にあたる費用は月額払い、利用者の個別給付に必要な費用は日額払いとし、基本報酬で安定経営ができる報酬体系に抜本的に改めてください。

以上

2021年1月15日

鹿児島県知事
塩田 康一 様

一般社団法人全国知的障害者施設家族会連合会
理事長 由 岐 透
兵庫県神戸市中央区橘通3-4-1
神戸市立総合福祉センター2F
TEL 078-371-3930

緊急要望

昨年1月6日、厚生労働省が「中国の武漢市で原因不明の肺炎の発生が複数報告されている」と発表したことが新型コロナウイルス感染についての日本での第一報でありました。あれから1年が経過し、新型コロナウイルスは世界中に蔓延しました。日本では感染拡大の勢いが増すばかりで、さまざまな領域で生活困難を抱える人びとを苦しめており、全国知的障害者施設家族会連合会は、今般下記の4項目について緊急に要望します。

1. 医療崩壊の中で「いのちの選別」をおこなわないこと

感染者急増の中で、命を賭した献身的な医療現場の深刻な状況が報道されています。こうした状況下では、医療崩壊を理由に治療の優先順位をつける「いのちの選別」が進められないかと危惧します。医療機関や保健所等が「いのちの選別」を行わないよう徹底して下さい。医療・保健分野へ必要な予算、人的体制を早急かつ抜本的に強化して下さい。

2. 感染者が発生した場合の対策と支援を実施すること

障害者支援施設やグループホームで、障害のある人が感染した場合に、障害を理由に入院拒否をしないこと、そして、入院した際には 障害特性に合わせた支援や合理的配慮が講じられるような体制が整えられるように医療機関への支援策を講じてください。

なお、施設内でのゾーニングは、感染をさらに拡大させる危険性があるので望ましくありません。知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難であるため、重症化の徴候を見過ごさないために、感染した場合は原則的に入院対応をお願いします。

また、施設内でクラスターが発生した場合は、市町村や都道府県の職員も含めた最大限の応援体制を整えてください。

3. 障害のある人や支援者へPCR検査を早急に実施すること

障害のある人の多くは感染した場合に重症化リスクが高く、生活上、常に人による支援を必要としています。特に、知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難な人が多くいます。障害のある人や支援者がPCR検査を必要に応じて何度でも受けられるよう財政措置を含め早急に対策してください。

4. 障害福祉事業所の報酬の日額払い制度を抜本的に改めること

障害のある人が通う事業所は、感染リスク軽減のため、一時休所や、密をさけるために通所人員を減らす必要が生じます。しかし、日額払いの報酬支払制度では、感染リスク軽減策をとることが、事業所の存続を危うくすることにつながります。現在の在宅支援の柔軟な取り扱いは、各自治体の判断によって運用がまちまちです。

障害のある人が事業所を安心して利用できるようにするため、上記のような臨時的な対策ではなく、事業運営にあたる費用は月額払い、利用者の個別給付に必要な費用は日額払いとし、基本報酬で安定経営ができる報酬体系に抜本的に改めてください。

以上

2021年1月15日

沖縄県知事
玉城 デニー 様

一般社団法人全国知的障害者施設家族会連合会
理事長 由 岐 透
兵庫県神戸市中央区橘通3-4-1
神戸市立総合福祉センター2F
TEL 078-371-3930

緊急要望

昨年1月6日、厚生労働省が「中国の武漢市で原因不明の肺炎の発生が複数報告されている」と発表したことが新型コロナウイルス感染についての日本での第一報でありました。あれから1年が経過し、新型コロナウイルスは世界中に蔓延しました。日本では感染拡大の勢いが増すばかりで、さまざまな領域で生活困難を抱える人びとを苦しめており、全国知的障害者施設家族会連合会は、今般下記の4項目について緊急に要望します。

1. 医療崩壊の中で「いのちの選別」をおこなわないこと

感染者急増の中で、命を賭した献身的な医療現場の深刻な状況が報道されています。こうした状況下では、医療崩壊を理由に治療の優先順位をつける「いのちの選別」が進められないかと危惧します。医療機関や保健所等が「いのちの選別」を行わないよう徹底して下さい。医療・保健分野へ必要な予算、人的体制を早急かつ抜本的に強化して下さい。

2. 感染者が発生した場合の対策と支援を実施すること

障害者支援施設やグループホームで、障害のある人が感染した場合に、障害を理由に入院拒否をしないこと、そして、入院した際には 障害特性に合わせた支援や合理的配慮が講じられるような体制が整えられるように医療機関への支援策を講じてください。

なお、施設内でのゾーニングは、感染をさらに拡大させる危険性があるので望ましくありません。知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難であるため、重症化の徴候を見過ごさないために、感染した場合は原則的に入院対応をお願いします。

また、施設内でクラスターが発生した場合は、市町村や都道府県の職員も含めた最大限の応援体制を整えてください。

3. 障害のある人や支援者へ PCR 検査を早急を実施すること

障害のある人の多くは感染した場合に重症化リスクが高く、生活上、常に人による支援を必要としています。特に、知的障害のある人は自分で症状を訴えることが困難な人が多くいます。障害のある人や支援者が PCR 検査を必要に応じて何度でも受けられるよう財政措置を含め早急に対策してください。

4. 障害福祉事業所の報酬の日額払い制度を抜本的に改めること

障害のある人が通う事業所は、感染リスク軽減のため、一時休所や、密をさけるために通所人員を減らす必要が生じます。しかし、日額払いの報酬支払制度では、感染リスク軽減策をとることが、事業所の存続を危うくすることにつながります。現在の在宅支援の柔軟な取り扱いは、各自治体の判断によって運用がまちまちです。

障害のある人が事業所を安心して利用できるようにするため、上記のような臨時的な対策ではなく、事業運営にあたる費用は月額払い、利用者の個別給付に必要な費用は日額払いとし、基本報酬で安定経営ができる報酬体系に抜本的に改めてください。

以上